

注3

大学番号：私111

[平成27年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

届出

東京工科大学 工学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人片柳学園
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学事務局 業務課

職名・氏名 シムキョクジチョウ 事務局次長 タナカ 田中 ユウスケ 祐輔

職名・氏名 カカリチョウ 係長 シノザキ 篠崎 トシアキ 敏明

電話番号 042-637-2111

（夜間） 042-637-1110

FAX 042-637-2112

e-mail jm-hcgyomu@stf.teu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学部

<機械工学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	13
6. 留意事項等に対する履行状況等	20
7. その他全般的事項	21

<電気電子工学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	25
2. 授業科目の概要	29
3. 施設・設備の整備状況、経費	34
4. 既設大学等の状況	36
5. 教員組織の状況	38
6. 留意事項等に対する履行状況等	45
7. その他全般的事項	46

<応用化学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	49
2. 授業科目の概要	53
3. 施設・設備の整備状況、経費	57
4. 既設大学等の状況	59
5. 教員組織の状況	61
6. 留意事項等に対する履行状況等	67
7. その他全般的事項	68

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人片柳学園

(2) 大学名

東京工科大学

(3) 大学の位置

〒192-0982

東京都八王子市片倉町1404番地1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カタヤナギ コウ) 片柳 鴻 (昭和31年7月)		
学長	(カルベ イサオ) 軽部 征夫 (平成20年6月)		
学部長	(オオヤマ ヤスヒロ) 大山 恭弘 (平成27年4月)		
機械工学科長	(マツオ ヨシキ) 松尾 芳樹 (平成27年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)
平成27年度に報告する内容 → (27)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 機械工学科 学士(工学)	4年	100人	2年次 5人	415人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	100人 (-) [-]	—人	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.21倍	—倍	
志願者数	883 (-) [-]	—	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
受験者数	863 (-) [-]	—	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
合格者数	480 (-) [-]	—	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
B 入学者数	121 (-) [0]	—	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	1.21										

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 121	[-] -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				/		[] ()	[] ()	[] ()
計			[-] (-) 121	[] ()			[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	121 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0 人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	121 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 機械工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	人文	芸術論	1後	2							兼1	授業時間を確保するため配当年度を変更 (27)
		心理学	1前	2							兼1	
		哲学	2前	2							兼1	
		倫理学	2前	2							兼1	
		言語学	1前・後 2前	2							兼1	
		宗教学	1後 2前	2							兼1	
		コミュニケーション論	2前	2							兼1	
	社会	法学	1前・3後 1前・後	2							兼1	履修機会を広げるため開講時期を変更 (27)
		政治学	1前・後	2							兼1	
		経済学	1後	2							兼1	
		社会学	1前	2							兼1	
		現代社会論	2前	2							兼1	
		総合社会Ⅰ	2前	2							兼1	
		総合社会Ⅱ	3後	2							兼1	
	外国語	英語SLⅠ	1前	1							兼4	集中 授業時間を確保するため配当年度を変更 (27)
		英語RWⅠ	1前	1							兼4	
		英語SLⅡ	1後	1							兼4	
		英語RWⅡ	1後	1							兼4	
		英語インテンシブⅠ	2前	1							兼4	
		英語インテンシブⅡ	3後	1							兼4	
		英語インテンシブⅢ	3前	1							兼4	
		英語インテンシブⅣ	3後	1							兼4	
		日本語Ⅰ	1前	1							兼1	
		日本語Ⅱ	1後	1							兼1	
		フランス語Ⅰ	2前	1							兼1	
		フランス語Ⅱ	3前	1							兼1	
		中国語Ⅰ	2前	1							兼1	
中国語Ⅱ		3前	1							兼1		
ビジネス英語Ⅰ		2前	1							兼1		
ビジネス英語Ⅱ	3後	1							兼1			
ビジネス英語Ⅲ	3前	1							兼1			
海外語学研修	1後 2後	2							兼1			
情報・数理・自然科学	情報リテラシー	1前	2			1					集中 実習指導体制の充実を図り教員を追加 (27)	
	情報リテラシー演習	1前	2						2 1			
	数学概論	1前	2							兼2		
	数学基礎	1前	2							兼1		
	化学の世界	1前・後	2							兼3		
	生物の世界	1前・後	2							兼2		
	サイエンスの世界	1前・後	2							兼2		
	自然とエネルギー	2前	2							兼1		
	地球環境論	3後	2							兼1		
ウェルネス	栄養と健康	1前	2							兼1	集中	
	心と健康	1前	2							兼1		
	スポーツ実技Ⅰ	1前	1							兼6		
	スポーツ実技Ⅱ	1後	1							兼6		
	スポーツ実技Ⅲ	2前	1							兼5		
	スポーツ実技Ⅳ	3後	1							兼5		
	集中実技Ⅰ	1後	1							兼1		
集中実技Ⅱ	2前	1							兼1			
社会人基礎	フレッシュャーズゼミ	1前	1			6	1	2			集中	
	サービスラーニング実習Ⅰ	2前	1							兼2		
	サービスラーニング実習Ⅱ	2後	1							兼2		
	インターンシップⅠ	3前	1				1					
	インターンシップⅡ	3後	1				1					
	海外研修	1後	1							兼1		
小計 (55科目)	—	9	72	0	6	1	2	2 1	0	兼50 52		

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手						
学部共通	講義	コーオプ企業論	1後	2								兼1				
		サステイナブル工学基礎	2前	2			1					兼1				
	演習・実習	コーオプ演習Ⅰ	1後	1			6	1	2				兼1			
		コーオプ演習Ⅱ	2前	1									兼1			
		コーオプ演習Ⅲ	3前	1									兼1			
		コーオプ実習A	2③・④		8		1						兼1			
		コーオプ実習B	3前		4		1						兼1	集中		
		コーオプ実習C	2後		4		1						兼1	集中		
		地域連携課題	2③・④	3			1						兼1	※演習 オムニバス		
		工学英語A	2③・④	1									兼1			
		工学英語B	2③・④	1									兼1			
		サステイナブル工学実習	2③・④	1			1						兼1			
		サステイナブル工学プロジェクト演習	3後	1			1						兼1			
	専門基礎	講義	基礎力学	1前	2			1					兼0	機械工学科に特化した講義内容とするため兼担の担当をとりやめた(27)		
			微分積分Ⅰ	1前	2					1			兼1			
			微分積分Ⅱ	1後	2			1					兼0			
			線形代数(M)	1後	2					1			兼0			
			確率と統計	2前		2		1					兼1			
			安全工学	2前		2							兼1			
			信頼性工学	3後		2		1					兼1			
			知的財産権	3後		2							兼1			
			微分方程式	2前		2		1								
			フーリエ解析	3前		2		1								
			電磁気学	1後		2		1								
			電気電子回路Ⅰ	1後		2		1								
			電気電子回路Ⅱ	2前		2		1								
			演習・実験	プログラミング基礎(M)	1後	2						2				実習指導体制の充実を図り教員を追加(27)
				プログラミング応用(M)	3前		2					1				
				工学基礎実験(M)	1後	2			3	1	2					
小計(29科目)		—	26	36	0	7	1	2	2	1	0	兼8				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	講義	機構学	1前	2				1				
		材料力学	1後	2			1					
		計測工学	2前	2		1						
		機械力学	2前	2		1						
		流体力学	2前	2				1				
		熱力学	2前	2					1			
		加工学	3前	2		1						
		システム制御基礎	3前	2		1						
		ロボット運動学	3前	2					1			
		システム工学	3前	2		1						
		サステイナブル機械設計	3前	2		1						
		機械工学特別講義Ⅰ	3前	2				1				
		制御システム設計	3後	2		1						
		ロボット知能学	3後	2		1						
		計算力学	3後	2					1			
	サステイナブル生産技術	3後	2		1							
	機械工学特別講義Ⅱ	3後	2					1				
	実験・実習	機械創造基礎	1前	2			6 7	1	2			他の授業科目との関連から、教授1名の担当をとりやめた(27)
		機械創造応用	3後	2			7	1	2			
		機械製図実習	2前	3						1		
		3D-CAD実習	2③・④	1							1	
		マイクロコントローラ実習	2③・④	1			2					
		機械工学基礎実験	2前	3			2	1	2			
	研課題	機械工学応用実験	3前	3			5					
		創成課題	3後	2			7	1	2			
		卒業課題Ⅰ	4前	4			7	1	2			
		卒業課題Ⅱ	4後	4			7	1	2			
小計(27科目)		—	25	34	0	7	1	2	1	0	0	
合計(111科目)		—	60	142	0	7	1	2	1	0	兼56 59	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
33科目	78科目	0科目	111科目	科目	科目	科目	科目	
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	【区分：共用】 ①蒲田キャンパス 日本工学院専門学校との 共用： 収容定員5,230人 基準面積 なし 共用の合計 20,657.52㎡のうち、 借用地積31.29㎡ 借用期間 平成21年4月1日 ～51年3月31日 ②八王子キャンパス 日本工学院八王子専門 学校との共用： 収容定員5,440人 基準面積 なし 【区分：共用する他の 学校等の専用】 ①日本工学院専門学校 ②日本工学院八王子専門 学校		
	校 舎 敷 地	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 365,600.03㎡ ① 20,657.52㎡ ② 344,942.51㎡	計 6,292.01㎡ ① 6,292.01㎡ ② 0㎡	計 371,892.04㎡ ① 26,949.53㎡ ② 344,942.51㎡			
	運 動 場 用 地	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 36,158.00㎡ ① 0㎡ ② 36,158.00㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 36,158.00㎡ ① 0㎡ ② 36,158.00㎡			
	小 計	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 401,758.03㎡ ① 20,657.52㎡ ② 381,100.51㎡	計 6,292.01㎡ ① 6,292.01㎡ ② 0.00㎡	計 408,050.04㎡ ① 26,949.53㎡ ② 381,100.51㎡			
	そ の 他	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡			
	合 計	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 401,758.03㎡ ① 20,657.52㎡ ② 381,100.51㎡	計 6,292.01㎡ ① 6,292.01㎡ ② 0㎡	計 408,050.04㎡ ① 26,949.53㎡ ② 381,100.51㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	【区分：専用】 ①蒲田キャンパス ②八王子キャンパス 【区分：共用】 ①日本工学院専門学校 との共用： 収容定員5,230人 基準面積14,730㎡ 借用地積31.29㎡ 借用期間 平成21年4月1日 ～51年3月31日 ②日本工学院八王子専 門学校との共用： 収容定員5,440人 基準面積16,820㎡ 【区分：共用する他の 学校等の専用】 ①日本工学院専門学校 ②日本工学院八王子専 門学校			
	計 140,622.010㎡ ① 30,747.660㎡ ② 109,874.350㎡	計 40,970.610㎡ ① 9,279.950㎡ ② 31,690.660㎡	計 96,909.260㎡ ① 47,916.320㎡ ② 48,992.940㎡	計 278,501.880㎡ ① 87,943.930㎡ ② 190,557.950㎡				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	58室	4室	196室	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	工学部 機械工学科		12 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大 学 全 体 で の 共 有 分 ・ 八 王 子 図 書 館 図 書 133,501冊 学 術 雑 誌 191種 電 子 ジャーナル 56種 デ ータ ベース 8種 視 聴 覚 資 料 4,409点 ・ 蒲 田 図 書 館 図 書 22,628冊 学 術 雑 誌 171種 電 子 ジャーナル 27種 デ ータ ベース 4種 視 聴 覚 資 料 754点
	工学部 機械工学科	2,180 [380] (1,514 [341])	6 [0] (13 [5])	0 [0] (4 [4])	85 (17)	1,166 (495)	4 (4)	
	工学部 電気電子工学科	1,600 [300] (809 [265])	8 [0] (16 [3])	2 [0] (10 [2])	85 (20)	1,109 (430)	3 (3)	
	工学部 応用化学科	2,180 [380] (1,189 [184])	7 [2] (12 [2])	2 [2] (3 [2])	85 (10)	2,261 (740)	2 (2)	
	計	5,960 [1,060] (3,512 [790])	21 [2] (41 [10])	4 [2] (17 [8])	225 (47)	4,536 (1,665)	9 (9)	

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数				
	2,967㎡		658席		175,000冊				
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	10,645㎡		テニスコート (5面)		50m公認プール				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書館購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む
		教員1人当り研究費等	600千円	600千円	図書購入費	15,000千円	7,000千円	7,000千円	
		共同研究費等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	537,500千円	542,000千円	—千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,346千円	1,376千円	1,412千円	1,448千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			検定料収入、手数料収入、資産運用収入、事業収入等を持って支弁する。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東京工科大学 大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
ハイク・情報メディア研究科 ハイク専攻 博士後期課程	3	2	—	6	博士（ハイク） 又は博士（工学）	1.16	平成17年度	東京都八王子市 片倉町1404番地1号	
コンピュータ専攻 博士後期課程	3	2	—	6	博士（コンピュータ）又は 博士（工学）	1.00	平成17年度	同上	
メディア専攻 博士後期課程	3	2	—	6	博士（メディア） 又は博士（工学）	1.00	平成17年度	同上	
ハイク専攻 修士課程	2	40	—	80	修士（ハイク） 又は修士（工学）	1.08	平成17年度	同上	
コンピュータ専攻 修士課程	2	40	—	80	修士（コンピュータ）又は 修士（工学）	1.02	平成17年度	同上	
メディア専攻 修士課程	2	40	—	80	修士（メディア） 又は修士（工学）	0.48	平成17年度	同上	
アントレプレ専攻 修士課程	2	20	—	40	修士（アントレプレ）	0.52	平成17年度	同上	
大学の名称	東京工科大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
応用生物学部 応用生物学科	4	240	2年次 15人 3年次 9人	1,023	学士 （ハイク）	1.14	平成15年度	東京都八王子市 片倉町1404番地1号	平成20年4月入学者から、バイオニクス学部バイオニクス学科の名称変を、応用生物学部応用生物学科に変更した。
コンピュータ学部 コンピュータ科学学科	4	300	2年次 18人 3年次 12人	1,278	学士 （コンピュータ）	1.18	平成15年度	同上	
メディア学部 メディア学科	4	300	2年次 17人 3年次 12人	1,275	学士 （メディア学）	1.20	平成11年度	同上	

大学の名称	東京工科大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定員	収 容 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
工学部								東京都八王子市 片倉町1404 番地1号	
機械工学科	4	100	2年次 5人	415	学士 (工学)	1.21	平成27 年度		
電気電子工学科	4	100	2年次 5人	415	学士 (工学)	1.42	平成27 年度		
応用化学科	4	80	2年次 3人	329	学士 (工学)	1.12	平成27 年度		
医療保健学部								東京都大田 区西蒲田5- 23-22	
看護学科	4	120		480	学士 (看護学)	1.04	平成22 年度		
臨床工学科	4	80		320	学士 (臨床工学)	1.07	平成22 年度		
理学療法学科	4	80		320	学士 (理学療法学)	1.07	平成22 年度		
作業療法学科	4	40		160	学士 (作業療法学)	1.07	平成22 年度		
臨床検査学科	4	80		320	学士 (臨床検査学)	1.01	平成26 年度		
デザイン学部	4	200		800	学士 (デザイン)	1.06	平成22 年度	同上	
デザイン学科									

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めません。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 機械工学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専(学部長)	教授	材ヤマ 大山人 弘	平成27年4月	微分積分Ⅱ 微分方程式 システム制御基礎 機械創造基礎 機械創造応用 マイクロコント ローラー実習 機械工学応用実験 創成課題 卒研課題Ⅰ 卒研課題Ⅱ					微分積分Ⅱ 微分方程式 システム制御基礎 機械創造基礎 機械創造応用 マイクロコント ローラー実習 機械工学応用実験 創成課題 卒研課題Ⅰ 卒研課題Ⅱ	担当科目の変更(27) 「機械創造基礎」を担当科目から外した。 「機械創造基礎」は、他に担当者が9名いるため、支障はない。
専(学科長)	教授	マツ 三ツ 松尾 芳樹	平成27年4月	コーオプ演習Ⅰ 電気電子回路Ⅰ 電気電子回路Ⅱ ロボット知能学 機械創造基礎 機械創造応用 マイクロコント ローラー実習 機械工学応用実験 フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒研課題Ⅰ 卒研課題Ⅱ						
専	教授	シバ 伊 成 人 芝池 成人	平成27年4月	サステナブル工学基礎 コーオプ演習Ⅰ コーオプ実習B サステナブル工学実習 サステナブル工学プロジェクト演習 機械創造基礎 機械創造応用 機械工学応用実験 フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒研課題Ⅰ 卒研課題Ⅱ						
専	教授	シノ 錦 華 余 錦華	平成27年4月	コーオプ演習Ⅰ コーオプ実習C フーリエ解析 工学基礎実験(M) システム工学 制御システム設計 機械創造基礎 機械創造応用 機械工学基礎実験 フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒研課題Ⅰ 卒研課題Ⅱ						
専	教授	カハシ 七ツ 高橋 秀智	平成27年4月	コーオプ演習Ⅰ 地域連携課題* 計測工学 加工学 サステナブル生産技術 機械創造基礎 機械創造応用 機械工学応用実験 フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒研課題Ⅰ 卒研課題Ⅱ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	フルミツヲ 古井 光明	平成27年4月	コーオプ演習Ⅰ コーオプ実習A 確率と統計 信頼性工学 電磁気学 工学基礎実験(M) 機械創造基礎 機械創造応用 機械工学基礎実験 フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒研課題Ⅰ 卒研課題Ⅱ						
専	教授	フクシマ エドワード フミヒコ 福島 E. 文彦	平成27年4月	コーオプ演習Ⅰ 工学基礎実験(M) 機械力学 サステイナブル機械設計 情報リテラシー 機械創造基礎 機械創造応用 機械工学応用実験 フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒研課題Ⅰ 卒研課題Ⅱ						
専	准教授	ミヤ トシロ 三田 俊裕	平成27年4月	コーオプ演習Ⅰ 基礎力学 工学基礎実験(M) 材料力学 流体力学 機械工学特別講義Ⅰ 機械創造基礎 機械創造応用 機械工学基礎実験 インターンシップⅠ インターンシップⅡ フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒研課題Ⅰ 卒研課題Ⅱ						
専	講師	セキガチ アキリ 関口 暁宣	平成27年4月	コーオプ演習Ⅰ 線形代数(M) 工学基礎実験(M) 機構学 ロボット運動学 機械工学特別講義Ⅱ 機械創造基礎 機械創造応用 機械工学基礎実験 フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒研課題Ⅰ 卒研課題Ⅱ						
専	講師	オウボウ トモヤ 大久保 友雅	平成27年4月	コーオプ演習Ⅰ 微分積分Ⅰ 工学基礎実験(M) 熱力学 計算力学 機械創造基礎 機械創造応用 機械工学基礎実験 フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒研課題Ⅰ 卒研課題Ⅱ						
専	助教	ミツハシ ナル 三橋 郁	平成27年4月	プログラミング基礎(M) プログラミング応用(M) 情報リテラシー演習 機械製図実習 3D-CAD実習						
					専	助教	ウエノ ユキ 上野 祐樹	平成27年4月	プログラミング基礎(M) 情報リテラシー演習	実習指導体制の充実を図り教員を追加(27)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	モリ 茂徳 マサヒロ 昌弘	平成27年4月	微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ	兼任	教授	モリ 茂徳 マサヒロ 昌弘	平成27年4月	微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ	機械工学科に特化した講義内容とするため、兼任の担当をとりやめることとした(27)
兼任	教授	ササキ ケンジ ササキ 賢二郎	平成27年4月	コーオプ演習Ⅱ コーオプ演習Ⅲ コーオプ実習A コーオプ実習B コーオプ実習C 地域連携課題*						
兼任	教授	カサギリ トシマサ 片桐 利真	平成28年4月	安全工学						
兼任	教授	エガシ 賢幸 江頭 靖幸	平成28年4月	サステイナブル工学基礎 サステイナブル工学実習 サステイナブル工学プロジェクト演習						
兼任	教授	フジノ マサカ 藤野 正克	平成27年4月	英語RWⅠ 英語RWⅡ	兼任	准教授	イヅカ ミカ 石塚 美佳	平成27年4月	英語RWⅠ 英語RWⅡ	担当者の変更(27)
兼任	教授	カノウ マサヒロ 工藤 昌宏	(平成27年9月)	経済学 総合社会Ⅱ コーオプ企業論						
兼任	教授	カミヤマ ノリユキ 上林 憲行	平成28年4月	サビスタニング実習Ⅰ サビスタニング実習Ⅱ						
兼任	教授	サイ ユウコ 酒井 優子	平成27年4月	言語学 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ						
兼任	教授	ミチ セイコ 三田地 成幸	平成27年4月	化学の世界*						
兼任	教授	オノ マサヒロ 奥 正廣	平成27年4月	心理学 総合社会Ⅰ						
兼任	教授	スティーブン ウィドウズ スティーブン ウィドウズ	平成28年9月	海外語学研修	兼任	教授	カウラ ミチ 勝浦 寿美	平成27年9月	海外語学研修	担当者を変更し、1年次後期に開講(27)
兼任	教授	イハ けん 稲葉 竹俊	平成28年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ						
兼任	教授	チン シュクメイ 陳 淑梅	平成28年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ				平成27年9月	海外研修	担当科目の追加に伴う就任年月の変更(27)
兼任	教授	スギモト イサ 杉本 岩雄	平成27年4月	化学の世界*						
兼任	教授	ウエダ マミ 植田 麻美	平成27年9月	海外研修	兼任	教授	チン シュクメイ 陳 淑梅	平成27年9月	海外研修	平成27年3月●●●●が退職のため担当教員を変更(27)
兼任	教授	サマ ユウジ 佐久間 裕司	平成27年4月	心と健康 スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ 集中実技Ⅰ サビスタニング実習Ⅰ サビスタニング実習Ⅱ						
兼任	教授	トダ ヒロコ 豊田 ひろ子	平成28年4月	英語インテンシブⅠ 英語インテンシブⅡ ビジネス英語Ⅲ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	アリシア ロス キャンベル A. ロス キャンベル	平成27年4月	英語SL I 英語SL II 英語インテンシブ III 英語インテンシブ IV ビジネス英語 II				平成29年4月	英語インテンシブ III 英語インテンシブ IV ビジネス英語 II	担当科目の変更に伴う就任年月の変更 (27)
					兼任	教授	ミナトミ 吉田俊実	平成27年4月	英語SL I 英語SL II	
兼任	教授	うね 拓 浦瀬 太郎	平成29年9月	地球環境論						
兼任	准教授	イダ アキ 飯田 朱美	平成28年9月	工学英語A						
兼任	准教授	オチイ コウタロウ 落合 浩太郎	平成27年4月	政治学						
兼任	准教授	クリストファー・ボック クリストファー・ブロッケン ク	平成28年4月	ビジネス英語 I 工学英語B				平成27年4月	英語SL I 英語SL II	担当科目の追加に伴う就任年月の変更 (27)
兼任	准教授	イヅカ ミカ 石塚 美佳	平成29年4月	英語インテンシブ III 英語インテンシブ IV				平成27年4月	英語RW I 英語RW II	担当科目の追加に伴う就任年月の変更 (27)
兼任	准教授	スズキ マチ 鈴木 万希枝	平成28年4月	コミュニケーション論						
兼任	准教授	ヤマモト スム 山元 進	平成27年4月	数学概論	兼任	准教授	カミ サトシ 亀井 聡	平成27年4月	数学概論	担当者の変更 (27)
兼任	准教授	ヤマヤマ マサヒコ 大山 昌彦	平成28年4月	現代社会論						
兼任	准教授	イノ ソウイチロウ 生野 壮一郎	平成27年4月	数学概論						
兼任	准教授	カミ サトシ 亀井 聡	平成27年4月	数学基礎	兼任	教授	ミヤマ イサオ 宮村 勲	平成27年4月	数学基礎	担当者の変更 (27)
兼任	准教授	ムラカミ ヤスジロウ 村上 康二郎	平成27年4月	法学						
兼任	准教授	トミザワ シンヤ 富沢 信也	平成27年9月	サイエンスの世界						
兼任	講師	カシバ ミサト 加柴 美里	平成27年9月	生物の世界						
兼任	講師	ナカムラ ヒデアキ 中村 秀明	平成27年4月	生物の世界 自然と人類						
兼任	講師	カヨイ イツヤ 加用 一者	平成27年4月	サイエンスの世界						
兼任	講師	アンバ ヒサカ 安部 久貴	平成27年4月	栄養と健康 スポーツ実技 I スポーツ実技 II スポーツ実技 III スポーツ実技 IV 集中実技 II	兼任	講師	アライ タカシ 浅井 泰詞	平成27年4月	栄養と健康	平成26年9月 ●●●●が退職のため担当 者を変更 「スポーツ実技 III」「スポーツ 実技 IV」「集中実技 II」につい ては他に担当者が複数いるため 支障はない。(27)
					兼任	講師	イノエ ヨシタカ 井上 洋佑	平成27年4月	スポーツ実技 I スポーツ実技 II	
							後任未定	スポーツ実技 III スポーツ実技 IV 集中実技 II		
兼任	講師	ヨシムラ アキヨシ 吉村 彰芳	平成28年4月	確率と統計						
兼任	講師	ミノウ ナリヒコ 箕浦 憲彦	平成27年4月	化学の世界※						
兼任	講師	ウメダ カズホ 梅田 一穂	平成27年9月	芸術論						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	ムルター ニエル	平成27年4月	英語RW I 英語RW II 英語インテンシブ III 英語インテンシブ IV				平成29年4月	英語インテンシブ III 英語インテンシブ IV	担当科目変更に伴う就任年月の変更 (27)
					兼任	講師	ラベネカ ジョシュア	平成27年4月	英語RW I 英語RW II	担当者の変更 (27)
兼任	講師	フィールドン テリー	平成27年4月	英語SL I 英語SL II	兼任	准教授	グロスタフ・P・ブロッケン	平成27年4月	英語SL I 英語SL II	担当者の変更 (27)
兼任	講師	中川 明博	平成28年4月	哲学						
兼任	講師	オーエン ジョン	平成28年4月	英語インテンシブ I 英語インテンシブ II						
兼任	講師	西巻 丈児	平成28年4月	倫理学						
兼任	講師	アシュウィン キャンベル	平成27年4月	英語SL I 英語SL II	兼任	講師	近藤 章子	平成27年4月	英語SL I 英語SL II	担当者の変更 (27)
兼任	講師	岩永 勇二	平成29年9月	知的財産権						
兼任	講師	岩田 真一	平成28年4月	スポーツ実技 III スポーツ実技 IV						
兼任	講師	中山 誠一	平成28年4月	英語インテンシブ I 英語インテンシブ II						
兼任	講師	南 英樹	平成27年4月	スポーツ実技 I スポーツ実技 II	兼任	講師	廣瀬 健一	平成27年4月	スポーツ実技 I スポーツ実技 II	担当者の変更 (27)
兼任	講師	林原 玲洋	平成27年4月	社会学						
兼任	講師	ハンブリ マーク	平成27年4月	英語RW I 英語RW II	兼任	講師	関 由真	平成27年4月	英語RW I 英語RW II	担当者の変更 (27)
兼任	講師	丸山 空大	平成28年4月	宗教学						
兼任	講師	レイン ボール	平成28年4月	英語インテンシブ I 英語インテンシブ II 英語インテンシブ III 英語インテンシブ IV						
兼任	講師	ラベネカ ジョシュア	平成27年4月	英語SL I 英語SL II					英語RW I 英語RW II	担当科目の追加 (27)
兼任	講師	木原 翠	平成27年4月	英語RW I 英語RW II	兼任	講師	衣川 清子	平成27年4月	英語RW I 英語RW II	担当者の変更 (27)
兼任	講師	浅井 泰詞	平成28年4月	スポーツ実技 III スポーツ実技 IV				平成27年4月	栄養と健康	担当科目の追加に伴う就任年月の変更 (27)
兼任	講師	金指 みの利	平成28年4月	スポーツ実技 III スポーツ実技 IV						
兼任	講師	八幡 光哉	平成28年4月	スポーツ実技 III スポーツ実技 IV						
兼任	講師	山岸 道央	平成27年4月	スポーツ実技 I スポーツ実技 II	兼任	講師	神田 俊平	平成27年4月	スポーツ実技 I スポーツ実技 II	担当者の変更 (27)
兼任	講師	内藤 景	平成27年4月	スポーツ実技 I スポーツ実技 II	兼任	講師	今村 直美	平成27年4月	スポーツ実技 I スポーツ実技 II	担当者の変更 (27)
兼任	講師	平野 智也	平成27年4月	スポーツ実技 I スポーツ実技 II						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
7	1	2	1	11	7	1	2	2	12	65	0	—	—
(7)	(1)	(2)	(2)	(12)	[0]	[0]	[0]	[1]	[1]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「—」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由 「該当なし」

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (年 月)	「該当なし」		
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等 「該当なし」

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

東京工科大学企画推進会議（以下「企画推進会議」）を設置し、教員の資質維持・向上を含め全学的な諸改革の推進について検討を行っている。

また、学長諮問委員会として次の委員会を設置し、全学的なFD活動に取り組んでいる。

- ・ FD委員会
- ・ 教育力強化委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 企画推進会議は、原則として月1回開催し、学長、研究科長、各学部長、学環長、研究所長、学長補佐、教務部長、学生部長、就職部長、事務局長、学長室長で構成している。
- ・ 平成26年度は、8月を除き全11回開催し、平成27年度も4月に第1回を開催している。
- ・ FD委員会は、別に実施している全学教職員会におけるテーマ設定を目的として平成26年度に2回開催した。
- ・ 教育力強化委員会は、全専任教員に対して実施している教員相互の授業点検における結果の検証、点検項目の改善等を目的として平成26年度は3回開催した。
- ・ 企画推進会議は、前期・後期で開催日を決めて開催していること、FD委員会、教育力強化委員会は構成員の予定を調整し開催していることから、ほぼ全員が出席している。

c 委員会の審議事項等

- ・ 企画推進会議では、学部独自のFD活動やFD委員会で設定した全学教職員会のテーマについて報告・意見交換を行うとともに、FD活動に限らず学部の取り組みなどについて報告・審議する。
- ・ FD委員会では、本学の課題や取り組むべき事項を抽出するとともに、全学教職員会のテーマについて審議する。
- ・ 教育力強化委員会では、教員相互の授業点検に関し、点検結果の検証や評価の低い教員への再点検の要否、点検項目の見直し等について審議する。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 教員相互の授業点検（教育力強化委員会）
- ・ 全学教職員会（FD委員会）
- ・ 新任教員研修会
- ・ アゴラ
- ・ 授業評価アンケート

b 実施方法

- ・ 教員相互の授業点検

専任教員の授業を、当該学部長・学環長、当該学部・学環教務委員長等数名の教員で授業評価表をもとに客観的な評価をし、その結果をもとに評価を受けた教員と評価をした教員が面談を実施している。平成27年度からは実験系の科目でも、この授業点検を実施すべく教育力強化委員会で検討している。

・全学教職員会

八王子・蒲田の両キャンパスで原則として月1回全教職員を構成員とする全学教職員会を開催し、当該年度の学長方針等をはじめ、全教職員が本学のおかれている状況と問題意識の共有を図り、教職協働で教育の向上や学生支援に役立てている。

・新任教員研修会

新任教員を対象に、学長からは本学の理念と目標、教育研究に関することについて訓話があり、その後、事務局からは本学の行動規範、就業規則等諸規程及び各部署の役割について説明している。

・アゴラ

学部・学環ごとに当該組織の教育・研究に関する討論の場として、アゴラを原則として月1回開催している。このアゴラには、事務局は参加せず完全に教員のみによる活発な討論の場としている。

・授業評価アンケート

開講している全授業科目について学生による授業評価アンケートを実施している。八王子キャンパスでは、平成26年度までは本学で開発した教育支援システムを活用して実施していたが、平成27年度からは全授業においてe-ラーニングプラットフォームであるMoodleを活用して実施する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・教員相互の授業点検

平成26年度は大学全体で82名の専任教員の授業点検を実施した。平成27年度からは工学部各学科の授業点検も実施する予定である。

・全学教職員会

平成26年度は八王子キャンパスで下記のテーマにより全10回開催し、平均出席率は約80%である。

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 第1回：平成26～29年度の大学運営方針 | 第6回：オープンエデュケーションの現状と展望 |
| 第2回：学部・研究科の基本方針 | 第7回：アクティブラーニングを利用した学長賞の取組み |
| 第3回：世界のFDの課題－欧米と日本－ | 第8回：創価大学におけるピアサポートの取組みと事例 |
| 第4回：大学新ITの教育利用 | 第9回：卒業研究への取組み方について |
| 第5回：国際教養スタンダードに向けて | 第10回：学生のメンタルヘルスケアについて |

・新任教員研修会

八王子キャンパスでは、平成26年、平成27年ともに4月1日・2日の両日で新任教員研修会を開催し、新任教員全員が出席した。4月1日は、学長から理念・目標をはじめ、本学の学生と教育の特徴などの訓話の後、事務局から就業上の説明、ハラスメントの現状などについて説明を行った。4月2日は、八王子キャンパスにおけるIT環境やITを活用した教育支援について、メディアセンター長から説明を行った。

・アゴラ

本学では、各学部・学環で原則月1回アゴラを開催している。このアゴラの開催については、大学評議会、教授会と同様に本学における重要な会議のひとつとしていることから、前期・後期であらかじめ開催日程を定めていることから、ほぼ全教職員が出席している。工学部においては、開設前々年度の3月28日に就任予定教員による第1回のアゴラを開催した。開設前年度の平成26年度には、全12回のアゴラを開催し、工学部各学科の教育研究にかかわる討論を実施した。平成27年からは他の学部同様に、開催スケジュールに基づき4月に第1回を開催している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員相互の授業点検は、平成26年度までに教員一人あたり2回の点検を受けている。その結果をみるとほぼ全ての教員が授業の内容・方法に改善がみられており、授業改善の取組みとしては、大きい成果をあげている。この教育力強化委員会による授業点検は、自己点検・評価の一環として実施しており、引き続きPDCAサイクルによる授業改善に取り組むこととしている。また、他の教員の授業をみることは、自己の授業改善にも役立つことから、新任教員については、着任1年以内に3回以上、その他の教員は当該年度中に1回以上の授業参観を義務づけ、教員の教育力向上に資することとした。

③ 授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

既設学部については、毎年度前期は6月下旬～7月中旬（授業回：11回～13回）、後期は11月下旬～12月中旬（授業回：10回～12回）に実施している。工学部においても、既設学部同様に実施する予定である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は、当該教員と当該教員が属する学部長・学環長にフィードバックしている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

工学部においては、開設年度であるため設置の趣旨・目的に関する具体的な自己点検・評価には及んでいないが、サステイナブル工学を教育・研究する工学部は、特徴のひとつとしてコーオプ教育を導入するが、その準備段階として、平成27年度よりコーオプセンターを発足し、平成28年度からの実践に向け設置計画を履行している。

また、工学部は既設学部からの定員振り替えにより設置していることもあり、学年進行に合わせて、既設学部施設の一部を工学部の施設に再整備することになる。既設学部と工学部の教育に支障がないように整備計画を実施する。

今後は、自己点検・評価委員会を中心として、設置の趣旨・目的の達成状況をはじめ、教育・設備等の自己点検・評価を行う予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成27年3月 公表済
- ただし、工学部を含めた自己点検・評価書については、平成29年9月公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、大学HPで公表等

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成26年度に評価機関（（公財）日本高等教育評価機構）で評価を受けた。
- ・平成33年度までに評価機関（未定）で第3回目の評価を受ける。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成27年 9月 30日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人片柳学園

(2) 大学名

東京工科大学

(3) 大学の位置

〒192-0982

東京都八王子市片倉町1404番地1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カタヤナギ コウ) 片柳 鴻 (昭和31年7月)		
学長	(カルベ イサオ) 軽部 征夫 (平成20年6月)		
学部長	(オオヤマ ヤスヒロ) 大山 恭弘 (平成27年4月)		
電気電子工学 科長	(モニワ マサヒロ) 茂庭 昌弘 (平成27年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)
平成27年度に報告する内容 → (27)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 電気電子工学科 学士(工学)	4年	100人	2年次 5人	415人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	100人	—人	()	()	()	()	()	()	()	()	1.42倍	—倍	
志願者数	524	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
受験者数	509	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
合格者数	427	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
B 入学者数	142	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
入学定員超過率 B/A	1.42												

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 142	[-] -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[]	[]	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次					/		[] ()	[] ()	
計			[-] (-) 142	[] ()			[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	142 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0 人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	142 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 電気電子工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	人文	芸術論	1後	2							兼1	履修時間を確保するため配当年度を変更(27)
		心理学	1前	2							兼1	
		哲学	2前	2							兼1	
		倫理学	2前	2							兼1	
		言語学	1前・後 2前	2							兼1	
		宗教学	1後 2前	2							兼1	
		コミュニケーション論	2前	2							兼1	
	社会	法学	1前・2後 1前・後	2							兼1	履修機会を広げるため開講時期を変更(27)
		政治学	1前・後	2							兼1	
		経済学	1後	2							兼1	
		社会学	1前	2							兼1	
		現代社会論	2前	2							兼1	
		総合社会Ⅰ	2前	2							兼1	
		総合社会Ⅱ	3後	2							兼1	
	外国語	英語SLⅠ	1前	1							兼4	集中 履修時間を確保するため配当年度を変更(27)
		英語RWⅠ	1前	1							兼4	
		英語SLⅡ	1後	1							兼4	
		英語RWⅡ	1後	1							兼4	
		英語インテンシブⅠ	2前	1							兼4	
		英語インテンシブⅡ	3後	1							兼4	
		英語インテンシブⅢ	3前	1							兼4	
		英語インテンシブⅣ	3後	1							兼4	
		日本語Ⅰ	1前	1							兼1	
		日本語Ⅱ	1後	1							兼1	
		フランス語Ⅰ	2前	1							兼1	
		フランス語Ⅱ	3前	1							兼1	
		中国語Ⅰ	2前	1							兼1	
中国語Ⅱ		3前	1							兼1		
ビジネス英語Ⅰ		2前	1							兼1		
ビジネス英語Ⅱ		3後	1							兼1		
ビジネス英語Ⅲ	3前	1							兼1			
海外語学研修	1後 2後	2							兼1			
情報・数理・自然科学	情報リテラシー	1前	2			1					実習指導体制の充実を図り教員を追加(27) オムニバス	
	情報リテラシー演習	1前	2			1		1				
	数学概論	1前	2							兼2		
	数学基礎	1前	2							兼1		
	化学の世界	1前・後	2							兼3		
	生物の世界	1前・後	2							兼2		
	サイエンスの世界	1前・後	2							兼2		
	自然とエネルギー	2前	2							兼1		
地球環境論	3後	2							兼1			
ウェルネス	栄養と健康	1前	2							兼1	集中 集中	
	心と健康	1前	2							兼1		
	スポーツ実技Ⅰ	1前	1							兼6		
	スポーツ実技Ⅱ	1後	1							兼6		
	スポーツ実技Ⅲ	2前	1							兼5		
	スポーツ実技Ⅳ	3後	1							兼5		
	集中実技Ⅰ	1後	1							兼1		
集中実技Ⅱ	2前	1							兼1			
社会人基礎	フレッシュャーズゼミ	1前	1		6	3					集中	
	サービスマーケティング実習Ⅰ	2前	1							兼2		
	サービスマーケティング実習Ⅱ	2後	1							兼2		
	インターンシップⅠ	3前	1		1							
	インターンシップⅡ	3後	1		1							
海外研修	1後	1							兼1			
小計(55科目)		—	9	72	0	6	3	0	1	0	兼50 53	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手				
学部 共通	講義	コーオプ企業論	1後	2								兼1		
		サステイナブル工学基礎	2前	2								兼2		
	演習・実習	コーオプ演習Ⅰ	1後	1			7	3						
		コーオプ演習Ⅱ	2前	1			1						兼1	
		コーオプ演習Ⅲ	3前	1			1						兼1	
		コーオプ実習A	2③・④		8		2						兼1	
		コーオプ実習B	3前		4		1						兼1 集中	
		コーオプ実習C	2後		4		1						兼1 集中	
		地域連携課題	2③・④	3			1	1					兼1 ※演習 オムニバス	
		工学英語A	2③・④	1									兼1	
		工学英語B	2③・④	1									兼1	
		サステイナブル工学実習	2③・④	1			1						兼1	
		サステイナブル工学プロジェクト演習	3後	1			1						兼1	
		専門 教育 科目	演習・実習	微分積分Ⅰ	1前	2			1					兼0 +
	微分積分Ⅱ			1後	2			1					兼0 +	
	線形代数(E)			1前	2			1						
	電気数学			1後	2			1						
	基礎力学			2前		2							兼1	
	フーリエ解析			2前		2							兼1	
	確率と統計			2前		2							兼2	
安全工学	2前				2							兼1		
信頼性工学	3後				2							兼1		
知的財産権	3後				2							兼1		
演習・実習	プログラミング基礎(E)		2前	2				1						
	プログラミング応用(E)		2後		2			1						
	電気数学演習		1後	1			1							
	工学基礎実験Ⅰ(E)		1前	2			1	1						
	工学基礎実験Ⅱ(M)		1後	2			1	1						
	小計(29科目)		—	29	30	0	7	3	0	0	0	兼11 +3		

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専門 教育科目	講義	電気回路Ⅰ	1前	2			1					
		電気回路Ⅱ	1後		2		1					
		電子回路Ⅰ	1後	2			1					
		電子回路Ⅱ	2前		2		1					
		電気磁気学	2前		2		1					
		電気電子計測	2前		2			1				
		電子物性	2前		2		1					
		論理回路	2前		2			1				
		信号処理	2前		2			1				
		電子デバイス	2後		2		1	1				
		計算機工学	2後		2			1				
		センサー工学	2後		2			1				
		通信工学	2後		2			1				
		デジタル回路	2後		2		1					
		電子回路設計	2後		2			1				
		電気機器	2後		2		1					
		エネルギー工学	2後		2		1					
		システム工学	2後		2		1					
		サステイナブル電気電子	3後		2			1				
		発変電工学	3後		2		1					
	グリーンエネルギー	3後		2		1						
	送電システム	3後		2		1						
	パワーエレクトロニクス	3後		2		1						
	集積回路	3後		2		1						
	プロセス工学	3後		2		1						
	マイクロプロセッサ	3後		2		1						
	オプトエレクトロニクス	3後		2		1						
	通信システム	3後		2			1					
	電気法規と電気施設管理	4前		2							兼 1	
	電波法規	4前		2							兼 1	
	実験・実習	電気回路演習Ⅰ	1前	1			1		1			
		電気回路演習Ⅱ	1後		1		1			1		
		電子回路演習Ⅰ	1後	1			1			1		
		電子回路演習Ⅱ	2前		1		1			1		
		電気電子工学実験Ⅰ	2前	3			1	1				
		電気電子工学実験Ⅱ	2後	3			2					
		電気電子工学実験Ⅲ	3①・②	3			2					
	研 究 課 題	創成課題	3後	2			6	3				
		卒業課題Ⅰ	4前	4			6	3				
		卒業課題Ⅱ	4後	4			6	3				
小計 (40科目)		—	25	58	0	6	3	0	1	0	兼 2	
合計 (123科目)		—	63	160	0	7	3	0	1	0	兼 61 66	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
35 科目	88 科目	0 科目	123 科目	科目	科目	科目	科目	
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	【区分：共用】 ①蒲田キャンパス 日本工学院専門学校との 共用： 収容定員5,230人 基準面積 なし 共用の合計 20,657.52㎡のうち、 借用面積31.29㎡ 借用期間 平成21年4月1日 ～51年3月31日 ②八王子キャンパス 日本工学院八王子専門 学校との共用： 収容定員5,440人 基準面積 なし 【区分：共用する他の 学校等の専用】 ①日本工学院専門学校 ②日本工学院八王子専門 学校		
	校 舎 敷 地	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 365,600.03㎡ ① 20,657.52㎡ ② 344,942.51㎡	計 6,292.01㎡ ① 6,292.01㎡ ② 0㎡	計 371,892.04㎡ ① 26,949.53㎡ ② 344,942.51㎡			
	運 動 場 用 地	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 36,158.00㎡ ① 0㎡ ② 36,158.00㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 36,158.00㎡ ① 0㎡ ② 36,158.00㎡			
	小 計	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 401,758.03㎡ ① 20,657.52㎡ ② 381,100.51㎡	計 6,292.01㎡ ① 6,292.01㎡ ② 0.00㎡	計 408,050.04㎡ ① 26,949.53㎡ ② 381,100.51㎡			
	そ の 他	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡			
	合 計	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 401,758.03㎡ ① 20,657.52㎡ ② 381,100.51㎡	計 6,292.01㎡ ① 6,292.01㎡ ② 0㎡	計 408,050.04㎡ ① 26,949.53㎡ ② 381,100.51㎡			
(2) 校 舎	専 用	計 140,622.010㎡ ① 30,747.660㎡ ② 109,874.350㎡	計 40,970.610㎡ ① 9,279.950㎡ ② 31,690.660㎡	計 96,909.260㎡ ① 47,916.320㎡ ② 48,992.940㎡	計 278,501.880㎡ ① 87,943.930㎡ ② 190,557.950㎡	【区分：専用】 ①蒲田キャンパス ②八王子キャンパス 【区分：共用】 ①日本工学院専門学校 との共用： 収容定員5,230人 基準面積14,730㎡ 借用面積31.29㎡ 借用期間 平成21年4月1日 ～51年3月31日 ②日本工学院八王子専門 学校との共用： 収容定員5,440人 基準面積16,820㎡ 【区分：共用する他の 学校等の専用】 ①日本工学院専門学校 ②日本工学院八王子専門 学校		
		(計 140,622.010㎡ ① 30,747.660㎡ ② 109,874.350㎡)	(計 40,970.610㎡ ① 9,279.950㎡ ② 31,690.660㎡)	(計 96,909.260㎡ ① 47,916.320㎡ ② 48,992.940㎡)	(計 278,501.880㎡ ① 87,943.930㎡ ② 190,557.950㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	58室	4室	196室	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	工学部 電気電子工学科			12 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共有分 ・八王子図書館 図書 133,501冊 学術雑誌 191種 電子ジャーナル 56種 データベース 8種 視聴覚資料4,409点 ・蒲田図書館 図書 22,628冊 学術雑誌 171種 電子ジャーナル 27種 データベース 4種 視聴覚資料 754点
	工学部 機械工学科	2,180 [380] (1,514 [341])	6 [0] (13 [5])	0 [0] (4 [4])	85 (17)	1,166 (495)	4 (4)	
	工学部 電気電子工学科	1,600 [300] (809 [265])	8 [0] (16 [3])	2 [0] (10 [2])	85 (20)	1,109 (430)	3 (3)	
	工学部 応用化学科	2,180 [380] (1,189 [184])	7 [2] (12 [2])	2 [2] (3 [2])	85 (10)	2,261 (740)	2 (2)	
	計	5,960 [1,060] (3,512 [790])	21 [2] (41 [10])	4 [2] (17 [8])	225 (47)	4,536 (1,665)	9 (9)	

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数				
	2,967㎡		658席		175,000冊				
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	10,645㎡		テニスコート(5面)		50m公認プール				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書館購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む
		教員1人当り研究費等	600千円	600千円	図書購入費	15,000千円	7,000千円	7,000千円	
	共同研究費等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	537,500千円	542,000千円	—千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,346千円	1,376千円	1,412千円	1,448千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			検定料収入、手数料収入、資産運用収入、事業収入等を持って支弁する。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東京工科大学 大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
ハイク・情報メディア研究科 ハイク専攻 博士後期課程	3	2	—	6	博士（ハイク） 又は博士（工学）	1.16	平成17年度	東京都八王子市 片倉町1404番地1号	
コンピュータ専攻 博士後期課程	3	2	—	6	博士（コンピュータ）又は 博士（工学）	1.00	平成17年度	同上	
メディア専攻 博士後期課程	3	2	—	6	博士（メディア） 又は博士（工学）	1.00	平成17年度	同上	
ハイク専攻 修士課程	2	40	—	80	修士（ハイク） 又は修士（工学）	1.08	平成17年度	同上	
コンピュータ専攻 修士課程	2	40	—	80	修士（コンピュータ）又は 修士（工学）	1.02	平成17年度	同上	
メディア専攻 修士課程	2	40	—	80	修士（メディア） 又は修士（工学）	0.48	平成17年度	同上	
アントレプレ専攻 修士課程	2	20	—	40	修士（アントレプレ）	0.52	平成17年度	同上	
大学の名称	東京工科大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
応用生物学部 応用生物学科	4	240	2年次 15人 3年次 9人	1,023	学士 （ハイク）	1.14	平成15年度	東京都八王子市 片倉町1404番地1号	平成20年4月入学者から、バイオニクス学部バイオニクス学科の名称変を、応用生物学部応用生物学科に変更した。
コンピュータ専攻学部 コンピュータ専攻学科	4	300	2年次 18人 3年次 12人	1,278	学士 （コンピュータ）	1.18	平成15年度	同上	
メディア学部 メディア学科	4	300	2年次 17人 3年次 12人	1,275	学士 （メディア学）	1.20	平成11年度	同上	

大学の名称	東京工科大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
工学部								東京都八王子市 片倉町1404 番地1号	
機械工学科	4	100	2年次 5人	415	学士 (工学)	1.21	平成27 年度		
電気電子工学科	4	100	2年次 5人	415	学士 (工学)	1.42	平成27 年度		
応用化学科	4	80	2年次 3人	329	学士 (工学)	1.12	平成27 年度		
医療保健学部								東京都大田 区西蒲田5- 23-22	
看護学科	4	120		480	学士 (看護学)	1.04	平成22 年度		
臨床工学科	4	80		320	学士 (臨床工学)	1.07	平成22 年度		
理学療法学科	4	80		320	学士 (理学療法学)	1.07	平成22 年度		
作業療法学科	4	40		160	学士 (作業療法学)	1.07	平成22 年度		
臨床検査学科	4	80		320	学士 (臨床検査学)	1.01	平成26 年度		
デザイン学部	4	200		800	学士 (デザイン)	1.06	平成22 年度	同上	
デザイン学科									

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 電気電子工学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専 (学科長)	教授	モロフ マサヒロ 茂庭 昌弘	平成27年4月	エネルギー工学 グリーンエネルギー 微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ システム工学 電気電子工学実験Ⅰ コーオプ演習Ⅰ フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒業課題Ⅰ 卒業課題Ⅱ						
専	教授	ツルオカ マコト 鶴岡 誠	平成27年4月	電子デバイス 電気磁気学 オプトエレクトロニクス 線形代数(E) 工学基礎実験Ⅰ(E) 工学基礎実験Ⅱ(E) コーオプ演習Ⅰ フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒業課題Ⅰ 卒業課題Ⅱ						
専	教授	マエダ ナリヒコ 前田 就彦	平成27年4月	電子物性 プロセス工学 電子回路Ⅱ 電子回路演習Ⅱ 電気電子工学実験Ⅲ コーオプ演習Ⅰ フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒業課題Ⅰ 卒業課題Ⅱ						
専	教授	ササオカ ケンジロウ 笹岡 賢二郎	平成27年4月	コーオプ演習Ⅰ コーオプ演習Ⅱ コーオプ実習A コーオプ実習B コーオプ実習C 地域連携課題* コーオプ演習Ⅲ インターンシップⅠ インターンシップⅡ						
専	教授	タケキ シゲユキ 高木 茂行	平成27年4月	パワーエレクトロニクス 電気機器 電気数学 電気数学演習 電気電子工学実験Ⅱ コーオプ演習Ⅰ コーオプ実習A フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒業課題Ⅰ 卒業課題Ⅱ						
専	教授	シカイ タシ 新海 健	平成27年4月	発変電工学 送電システム 電気回路Ⅱ 電気回路演習Ⅱ 電気電子工学実験Ⅱ コーオプ演習Ⅰ フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒業課題Ⅰ 卒業課題Ⅱ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	キムラ ヤスオ 木村 康男	平成27年4月	デジタル回路 集積回路 マイクロプロセッサ 電子回路Ⅰ 電子回路演習Ⅰ 電気電子工学実験Ⅲ コーオプ演習Ⅰ フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒業課題Ⅰ 卒業課題Ⅱ						
専	准教授	ツボカワ ヒロシ 坪川 宏	平成27年4月	通信工学 通信システム 信号処理 プログラミング応用(E) 工学基礎実験Ⅰ(E) コーオプ演習Ⅰ 地域連携課題* フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒業課題Ⅰ 卒業課題Ⅱ						
専	准教授	クワカワ ヒロアキ 黒川 弘章	平成27年4月	計算機工学 電子回路設計 論理回路 電気回路Ⅰ 電気回路演習Ⅰ 工学基礎実験Ⅱ(E) コーオプ演習Ⅰ フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒業課題Ⅰ 卒業課題Ⅱ					情報リテラシー演習	担当科目の追加(27) [実習指導体制の充実を図るため「情報リテラシー演習」に担当教員を追加した]
専	准教授	アマノ ナオキ 天野 直紀	平成27年4月	情報リテラシー センサー工学 電気電子計測 プログラミング基礎(E) サステイナブル電気 電子 電気電子工学実験Ⅰ コーオプ演習Ⅰ フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒業課題Ⅰ 卒業課題Ⅱ						
専	助教	カウ ヒデユキ 加藤 秀行	平成27年4月	電気回路演習Ⅰ 電気回路演習Ⅱ 電子回路演習Ⅰ 電子回路演習Ⅱ 情報リテラシー演習						
兼任	教授	オオヤマ ヤスヒロ 大山 恭弘	平成27年9月	微分積分Ⅱ	兼任	教授	オオヤマ ヤスヒロ 大山 恭弘	平成27年9月	微分積分Ⅱ	電気電子工学科に特化した講義内容とするため兼任の担当をとりやめることとした(27)
兼任	教授	シバイク ナリ 芝池 成人	平成28年4月	サステイナブル工学基礎 サステイナブル工学実習 サステイナブル工学プロジェクト演習						
兼任	教授	シヤ キンカ 余 錦華	平成28年4月	フーリエ解析						
兼任	教授	フルイ ミツアキ 古井 光明	平成28年4月	確率と統計 信頼性工学						
兼任	准教授	ミタ トシロ 三田 俊裕	平成28年4月	基礎力学						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	オオホトモマサ 大久保 友雅	平成27年4月	微分積分Ⅰ	兼任	講師	オオホトモマサ 大久保 友雅	平成27年4月	微分積分Ⅰ	電気電子工学科に特化した講義内容とするため兼任の担当をとりやめることとした(27)
兼任	教授	カキリ トシマサ 片桐 利真	平成28年4月	安全工学						
兼任	教授	エガシラ ヤスキ 江頭 靖幸	平成28年4月	サステイナブル工学基礎 サステイナブル工学実習 サステイナブル工学プロ ジェクト演習						
兼任	教授	オウ マサヒロ 工藤 昌宏	平成27年9月	経済学 総合社会Ⅱ コーポ企業論						
兼任	教授	カバヤシ リユキ 上林 憲行	平成28年4月	サービスラーニング実習 Ⅰ サービスラーニング実習 Ⅱ						
兼任	教授	サイ ユウコ 酒井 優子	平成27年4月	言語学 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ						
兼任	教授	ミチ セイコウ 三田地 成幸	平成27年4月	化学の世界*						
兼任	教授	オウ マサヒロ 奥 正廣	平成27年4月	心理学 総合社会Ⅰ						
兼任	教授	ヨシダ トシ 吉田 俊実	平成27年4月	英語RWⅠ 英語RWⅡ	兼任	教授	トヨダ ヒロコ 豊田 ひろ子	平成27年4月	英語RWⅠ 英語RWⅡ	担当者の変更(27)
兼任	教授	スティーブン ウィドウズ スティーブン ウィドウズ	平成27年4月	海外語学研修 英語SLⅠ 英語SLⅡ	兼任	教授	カツラ スミ 勝浦 寿美	平成27年9月	海外語学研修	担当者を変更し1年次後期に開講(27)
					兼任	教授	カミヤ アケミ 神谷 明美	平成27年4月	英語SLⅠ 英語SLⅡ	
兼任	教授	イナバ タケシ 稲葉 竹俊	平成28年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ						
兼任	教授	チン シュクハイ 陳 淑梅	平成28年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ				平成27年9月	海外研修	担当科目の追加に伴う就任年月の変更(27)
兼任	教授	スキト イワ 杉本 岩雄	平成27年4月	化学の世界*						
兼任	教授	ウエダ マミ 植田 麻美	平成27年9月	海外研修	兼任	教授	チン シュクハイ 陳 淑梅	平成27年9月	海外研修	平成27年3月 ●●●●が退職のため担当教員を陳淑梅に変更(27)
兼任	教授	サカ ユウジ 佐久間 裕司	平成27年4月	心と健康 スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ 集中実技Ⅰ サービスラーニング実習 Ⅰ サービスラーニング実習 Ⅱ						
兼任	教授	カミヤ アケミ 神谷 明美	平成28年4月	英語インテンシブⅠ 英語インテンシブⅡ				平成27年4月	英語SLⅠ 英語SLⅡ	担当科目の追加に伴う就任年月の変更(27)
兼任	教授	トヨダ ヒロコ 豊田 ひろ子	平成28年4月	ビジネス英語Ⅲ				平成27年4月	英語SLⅠ 英語SLⅡ 英語RWⅠ 英語RWⅡ	担当科目の追加に伴う就任年月の変更(27)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	アスター ロス キャンベル A.ロス キャンベル	平成28年9月	英語インテンシブⅢ 英語インテンシブⅣ ビジネス英語Ⅱ				平成27年4月	英語SLⅠ 英語SLⅡ	担当科目の追加に伴う就任年月の変更(27)
兼任	教授	ウラセ タロウ 浦瀬 太郎	平成28年9月	地球環境論						
兼任	准教授	イダ アケミ 飯田 朱美	平成29年4月	工学英語A						
兼任	准教授	オチアイ コウタロウ 落合 浩太郎	平成27年4月	政治学						
兼任	准教授	クリストファー・ポール・ブロックバング クリストファー・ブロックバング	平成28年4月	ビジネス英語Ⅰ 工学英語B				平成27年4月	英語RWⅠ 英語RWⅡ	担当科目の追加に伴う就任年月の変更(27)
兼任	准教授	インツカ ミカ 石塚 美佳	平成29年9月	英語インテンシブⅢ 英語インテンシブⅣ						
兼任	准教授	ススキ マキエ 鈴木 万希枝	平成28年4月	コミュニケーション論						
兼任	准教授	ヤマモト ススム 山元 進	平成27年4月	数学概論	兼任	准教授	カメイ サトシ 亀井 聡	平成27年4月	数学概論	担当者の変更(27)
兼任	准教授	オオヤマ マサヒコ 大山 昌彦	平成28年4月	現代社会論						
兼任	准教授	イクノ ソウイチロウ 生野 壮一郎	平成27年4月	数学概論						
兼任	准教授	カメイ サトシ 亀井 聡	平成27年4月	数学基礎	兼任	教授	ミヤムラ イサオ 宮村 勲	平成27年4月	数学基礎	担当者の変更(27)
兼任	准教授	ムラカミ ヤスジロウ 村上 康二郎	平成27年4月	法学						
兼任	准教授	トミザワ シンヤ 富沢 信也	平成27年9月	サイエンスの世界						
兼任	講師	カシバ ミサト 加柴 美里	平成27年9月	生物の世界						
兼任	講師	ナカムラ ヒデアキ 中村 秀明	平成27年4月	生物の世界 自然とエネルギー						
兼任	講師	カヨウ イツシャ 加用 一者	平成27年4月	サイエンスの世界						
兼任	講師	アンベ ヒサカ 安部 久貴	平成27年4月	栄養と健康 スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツ実技Ⅲ スポーツ実技Ⅳ 集中実技Ⅱ	兼任	講師	アライ タケシ 浅井 泰詞	平成27年4月	栄養と健康	平成26年9月 ●●●●が退職のため担 当者を変更 「スポーツ実技Ⅲ」「スポーツ 実技Ⅳ」「集中実技Ⅱ」につ いては他に担当者が複数いるため 支障はない。(27)
					兼任	講師	イノウエ ヨシタケ 井上 洋佑	平成27年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ	
兼任	講師	ヨシムラ アキヨシ 吉村 彰秀	平成28年4月	確率と統計						
兼任	講師	クロダ ミチコ 黒田 道子	平成30年4月	電波法規						
兼任	講師	ミノウラ リヒコ 箕浦 憲彦	平成27年4月	化学の世界※						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	ウメダ カズホ 梅田 一穂	平成27年9月	芸術論						
兼任	講師	ムルター ニエル ムルター ニエル	平成27年4月	英語RW I 英語RW II 英語インテンシブⅢ 英語インテンシブⅣ	兼任	准教授	クリスティーナ・ホルツ クリスティーナ・ホルツ	平成27年4月	英語RW I 英語RW II	担当者の変更(27)
								平成29年4月	英語インテンシブⅢ 英語インテンシブⅣ	
兼任	講師	フィールゼント テリー フィールゼント テリー	平成27年4月	英語SL I 英語SL II	兼任	教授	トヨダ ヒロコ 豊田 ひろ子	平成27年4月	英語SL I 英語SL II	担当者の変更(27)
兼任	講師	ナカガワ アキヒロ 中川 明博	平成28年4月	哲学						
兼任	講師	オーエン ジョン オーエン ジョン	平成28年4月	英語インテンシブ I 英語インテンシブ II						
兼任	講師	ニシマキ ジョウジ 西巻 丈規	平成28年4月	倫理学						
兼任	講師	アッシュウィン キャンベル アッシュウィン キャンベル	平成27年4月	英語SL I 英語SL II	兼任	講師	ナカヤマ トモカズ 中山 誠一	平成27年4月	英語SL I 英語SL II	担当者の変更(27)
兼任	講師	イワナガ ユウジ 岩永 勇二	平成29年9月	知的財産権						
兼任	講師	イワタ シンイチ 岩田 真一	平成28年4月	スポーツ実技Ⅲ スポーツ実技Ⅳ						
兼任	講師	ナカヤマ トモカズ 中山 誠一	平成28年4月	英語インテンシブ I 英語インテンシブ II 工学英語A 工学英語B				平成27年4月	英語SL I 英語SL II	担当科目の追加に伴う就任年月の変更(27)
兼任	講師	ミナミ ヒロキ 南 英樹	平成27年4月	スポーツ実技 I スポーツ実技 II	兼任	講師	ヒロセ ケンイチ 廣瀬 健一	平成27年4月	スポーツ実技 I スポーツ実技 II	担当者の変更(27)
兼任	講師	ハヤシハラ アキヒロ 林原 玲洋	平成27年4月	社会学						
兼任	講師	ハンブリ マーク ハンブリ マーク	平成27年4月	英語RW I 英語RW II	兼任	講師	マーク パーンズ マーク パーンズ	平成27年4月	英語RW I 英語RW II	担当者の変更(27)
兼任	講師	マルヤマ タカオ 丸山 空大	平成28年4月	宗教学						
兼任	講師	レイン ホール レイン ホール	平成28年4月	英語インテンシブ I 英語インテンシブ II 英語インテンシブⅢ 英語インテンシブⅣ						
兼任	講師	ラベネカ ジョシュア ラベネカ ジョシュア	平成27年4月	英語SL I 英語SL II	兼任	教授	アリスター ロス A.ロス キャンベル	平成27年4月	英語SL I 英語SL II	担当者の変更(27)
兼任	講師	キハラ ミドリ 木原 翠	平成27年4月	英語RW I 英語RW II	兼任	講師	タナカ ユリ 田中 ゆり	平成27年4月	英語RW I 英語RW II	担当者の変更(27)
兼任	講師	アサイ タイン 浅井 泰詞	平成28年4月	スポーツ実技Ⅲ スポーツ実技Ⅳ				平成27年4月	栄養と健康	担当科目の追加に伴う就任年月の変更(27)
兼任	講師	カナザン ミチ 金指 みの利	平成28年4月	スポーツ実技Ⅲ スポーツ実技Ⅳ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	ヤハタ ミツヤ 八幡 光哉	平成28年4月	スポーツ実技Ⅲ スポーツ実技Ⅳ						
兼任	講師	ヤマギシ ミチオ 山岸 道央	平成27年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ	兼任	講師	カシガキ シンペイ 神田 俊平	平成27年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ	担当者の変更(27)
兼任	講師	ナノウ ヒカリ 内藤 景	平成27年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ	兼任	講師	イマムラ ナオミ 今村 直美	平成27年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ	担当者の変更(27)
兼任	講師	ヒラノ トモヤ 平野 智也	平成27年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ						
兼任	講師	スガイ ヒロシ 菅井 裕	平成30年4月	電気法規と電気施設管理						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
7	3	0	1	11	7	3	0	1	11	65	0	—	—
(7)	(3)	(0)	(1)	(11)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「—」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由 「該当なし」

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (年 月)	「該当なし」		
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等 「該当なし」

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

東京工科大学企画推進会議（以下「企画推進会議」）を設置し、教員の資質維持・向上を含め全学的な諸改革の推進について検討を行っている。

また、学長諮問委員会として次の委員会を設置し、全学的なFD活動に取り組んでいる。

- ・ FD委員会
- ・ 教育力強化委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 企画推進会議は、原則として月1回開催し、学長、研究科長、各学部長、学環長、研究所長、学長補佐、教務部長、学生部長、就職部長、事務局長、学長室長で構成している。
- ・ 平成26年度は、8月を除き全11回開催し、平成27年度も4月に第1回を開催している。
- ・ FD委員会は、別に実施している全学教職員会におけるテーマ設定を目的として平成26年度に2回開催した。
- ・ 教育力強化委員会は、全専任教員に対して実施している教員相互の授業点検における結果の検証、点検項目の改善等を目的として平成26年度は3回開催した。
- ・ 企画推進会議は、前期・後期で開催日を決めて開催していること、FD委員会、教育力強化委員会は構成員の予定を調整し開催していることから、ほぼ全員が出席している。

c 委員会の審議事項等

- ・ 企画推進会議では、学部独自のFD活動やFD委員会で設定した全学教職員会のテーマについて報告・意見交換を行うとともに、FD活動に限らず学部の取り組みなどについて報告・審議する。
- ・ FD委員会では、本学の課題や取り組むべき事項を抽出するとともに、全学教職員会のテーマについて審議する。
- ・ 教育力強化委員会では、教員相互の授業点検に関し、点検結果の検証や評価の低い教員への再点検の要否、点検項目の見直し等について審議する。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 教員相互の授業点検（教育力強化委員会）
- ・ 全学教職員会（FD委員会）
- ・ 新任教員研修会
- ・ アゴラ
- ・ 授業評価アンケート

b 実施方法

- ・ 教員相互の授業点検

専任教員の授業を、当該学部長・学環長、当該学部・学環教務委員長等数名の教員で授業評価表をもとに客観的な評価をし、その結果をもとに評価を受けた教員と評価をした教員が面談を実施している。平成27年度からは実験系の科目でも、この授業点検を実施すべく教育力強化委員会で検討している。

・全学教職員会

八王子・蒲田の両キャンパスで原則として月1回全教職員を構成員とする全学教職員会を開催し、当該年度の学長方針等をはじめ、全教職員が本学のおかれている状況と問題意識の共有を図り、教職協働で教育の向上や学生支援に役立てている。

・新任教員研修会

新任教員を対象に、学長からは本学の理念と目標、教育研究に関することについて訓話があり、その後、事務局からは本学の行動規範、就業規則等諸規程及び各部署の役割について説明している。

・アゴラ

学部・学環ごとに当該組織の教育・研究に関する討論の場として、アゴラを原則として月1回開催している。このアゴラには、事務局は参加せず完全に教員のみによる活発な討論の場としている。

・授業評価アンケート

開講している全授業科目について学生による授業評価アンケートを実施している。八王子キャンパスでは、平成26年度までは本学で開発した教育支援システムを活用して実施していたが、平成27年度からは全授業においてe-ラーニングプラットフォームであるMoodleを活用して実施する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・教員相互の授業点検

平成26年度は大学全体で82名の専任教員の授業点検を実施した。
平成27年度からは工学部各学科の授業点検も実施する予定である。

・全学教職員会

平成26年度は八王子キャンパスで下記のテーマにより全10回開催し、平均出席率は約80%である。

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 第1回：平成26～29年度の大学運営方針 | 第6回：オープンエデュケーションの現状と展望 |
| 第2回：学部・研究科の基本方針 | 第7回：アクティブラーニングを利用した学長賞の取組み |
| 第3回：世界のFDの課題－欧米と日本－ | 第8回：創価大学におけるピアサポートの取組みと事例 |
| 第4回：大学新ITの教育利用 | 第9回：卒業研究への取組み方について |
| 第5回：国際教養スタンダードに向けて | 第10回：学生のメンタルヘルスケアについて |

・新任教員研修会

八王子キャンパスでは、平成26年、平成27年ともに4月1日・2日の両日で新任教員研修会を開催し、新任教員全員が出席した。
4月1日は、学長から理念・目標をはじめ、本学の学生と教育の特徴などの訓話の後、事務局から就業上の説明、ハラスメントの現状などについて説明を行った。
4月2日は、八王子キャンパスにおけるIT環境やITを活用した教育支援について、メディアセンター長から説明を行った。

・アゴラ

本学では、各学部・学環で原則月1回アゴラを開催している。このアゴラの開催については、大学評議会、教授会と同様に本学における重要な会議のひとつとしていることから、前期・後期であらかじめ開催日程を定めていることから、ほぼ全教職員が出席している。
工学部においては、開設前々年度の3月28日に就任予定教員による第1回のアゴラを開催した。開設前年度の平成26年度には、全12回のアゴラを開催し、工学部各学科の教育研究にかかわる討論を実施した。
平成27年からは他の学部同様に、開催スケジュールに基づき4月に第1回を開催している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員相互の授業点検は、平成26年度までに教員一人あたり2回の点検を受けている。その結果をみるとほぼ全ての教員が授業の内容・方法に改善がみられており、授業改善の取組みとしては、大きい成果をあげている。この教育力強化委員会による授業点検は、自己点検・評価の一環として実施しており、引き続きPDCAサイクルによる授業改善に取り組むこととしている。
また、他の教員の授業をみることは、自己の授業改善にも役立つことから、新任教員については、着任1年以内に3回以上、その他の教員は当該年度中に1回以上の授業参観を義務づけ、教員の教育力向上に資することとした。

③ 授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

既設学部については、毎年度前期は6月下旬～7月中旬（授業回：11回～13回）、後期は11月下旬～12月中旬（授業回：10回～12回）に実施している。
工学部においても、既設学部同様に実施する予定である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は、当該教員と当該教員が属する学部長・学環長にフィードバックしている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

工学部においては、開設年度であるため設置の趣旨・目的に関する具体的な自己点検・評価には及んでいないが、サステイナブル工学を教育・研究する工学部は、特徴のひとつとしてコーオプ教育を導入するが、その準備段階として、平成27年度よりコーオプセンターを発足し、平成28年度からの実践に向け設置計画を履行している。

また、工学部は既設学部からの定員振り替えにより設置していることもあり、学年進行に合わせて、既設学部施設の一部を工学部の施設に再整備することになる。既設学部と工学部の教育に支障がないように整備計画を実施する。

今後は、自己点検・評価委員会を中心として、設置の趣旨・目的の達成状況をはじめ、教育・設備等の自己点検・評価を行う予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成27年3月 公表済
- ただし、工学部を含めた自己点検・評価書については、平成29年9月公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、大学HPで公表等

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成26年度に評価機関（（公財）日本高等教育評価機構）で評価を受けた。
- ・平成33年度までに評価機関（未定）で第3回目の評価を受ける。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成27年 9月 30日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人片柳学園

(2) 大学名

東京工科大学

(3) 大学の位置

〒192-0982

東京都八王子市片倉町1404番地1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カタヤナギ コウ) 片柳 鴻 (昭和31年7月)		
学長	(カルベ イサオ) 軽部 征夫 (平成20年6月)		
学部長	(オオヤマ ヤスヒロ) 大山 恭弘 (平成27年4月)		
応用化学科長	(ヤマシタ タカシ) 山下 俊 (平成27年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)
 平成27年度に報告する内容 → (27)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 応用化学科 学士(工学)	4年	80人	2年次 3人	329人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	80人	—人	()	()	()	()	()	()	()	()	1.12倍	—倍	
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
志願者数	566	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
受験者数	558	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
合格者数	418	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
B 入学者数	90	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
入学定員超過率 B/A	1.12												

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[-] 90	[-] -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		
3年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		
4年次			[] ()	[] ()	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計			[-] (-) 90	[] ()			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	90 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0 人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	90 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 応用化学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	人文	芸術論	1後	2							兼1	授業時間を確保するため配当年度を変更 (27)
	心理学	1前	2							兼1		
	哲学	2前	2							兼1		
	倫理学	2前	2							兼1		
	言語学	1前・後 2前	2							兼1		
	宗教学	1後 2前	2							兼1		
	コミュニケーション論	2前	2							兼1		
	社会	法学	1前・2後 1前・後	2							兼1	履修機会を広げるため開講時期を変更 (27)
	政治学	1前・後	2							兼1		
	経済学	1後	2							兼1		
	社会学	1前	2							兼1		
	現代社会論	2前	2							兼1		
	総合社会 I	2前	2							兼1		
	総合社会 II	3後	2							兼1		
	外国語	英語SL I	1前	1							兼3	集中 授業時間を確保するため配当年度を変更 (27)
	英語RW I	1前	1							兼3		
	英語SL II	1後	1							兼3		
	英語RW II	1後	1							兼3		
	英語インテンシブ I	2前	1							兼3		
	英語インテンシブ II	3後	1							兼3		
	英語インテンシブ III	3前	1							兼4		
	英語インテンシブ IV	3後	1							兼4		
	日本語 I	1前	1							兼1		
	日本語 II	1後	1							兼1		
	フランス語 I	2前	1							兼1		
	フランス語 II	3前	1							兼1		
	中国語 I	2前	1							兼1		
中国語 II	3前	1							兼1			
ビジネス英語 I	2前	1							兼1			
ビジネス英語 II	3後	1							兼1			
ビジネス英語 III	3前	1							兼1			
海外語学研修	1後 2後	2							兼1			
情報・数理・自然科学	情報リテラシー	1前	2				1				オムニバス	
情報リテラシー演習	1前	2					1					
数学概論	1前	2								兼2		
数学基礎	1前	2								兼1		
化学の世界	1前・後	2								兼4		
生物の世界	1前・後	2								兼2		
サイエンスの世界	1前・後	2								兼2		
自然とエネルギー	2前	2								兼1		
地球環境論	3後	2								兼1		
ウェルネス	栄養と健康	1前	2							兼1	集中 集中	
心と健康	1前	2								兼1		
スポーツ実技 I	1前	1								兼6		
スポーツ実技 II	1後	1								兼6		
スポーツ実技 III	2前	1								兼5		
スポーツ実技 IV	3後	1								兼5		
集中実技 I	1後	1								兼1		
集中実技 II	2前	1								兼1		
社会人基礎	フレッシュャーズゼミ	1前	1		6	1	2				兼2 兼2 兼1 集中	
サービスラーニング実習 I	2前	1								兼2		
サービスラーニング実習 II	2後	1								兼2		
インターンシップ I	3前	1			1					兼1		
インターンシップ II	3後	1			1					兼1		
海外研修	1後	1								兼1		
小計 (55科目)	—	—	9	72	0	6	1	2	0	0	兼52 51	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専 門 教 育 科 目	講 義	コーオプ企業論	1後	2								兼 1		
		サステイナブル工学基礎	2前	2			1					兼 1		
	学 部 共 通	演 習 ・ 実 習	コーオプ演習Ⅰ	1後	1			6	1	2			兼 1	
			コーオプ演習Ⅱ	2前	1								兼 1	
			コーオプ演習Ⅲ	3前	1								兼 1	
			コーオプ実習A	2③・④		8		1					兼 1	
			コーオプ実習B	3前		4		1					兼 1 集中	
			コーオプ実習C	2後		4		1					兼 1 集中	
			地域連携課題	2③・④	3					1			兼 1 ※演習 オムニバス	
			工学英語A	2③・④	1								兼 2	
			工学英語B	2③・④	1								兼 2	
			サステイナブル工学実習	2③・④	1			1					兼 1	
			サステイナブル工学プロジェクト演習	3後	1			1					兼 1	
	専 門 教 育 科 目	演 習 ・ 実 験	微分積分Ⅰ	1前	2					1			オムニバス	
			線形代数 (C)	1前	2			1						
			化学基礎	1後	2			2	1					
			サステイナブル化学概論	2前	2			1						
			確率と統計	2前		2								兼 2
			安全工学	2前		2		1						
			信頼性工学	3後		2								兼 1
			知的財産権	3後		2								兼 1
		化学基礎演習	2前	2			2	1						
		プログラミング	1後	2						1				
		工学基礎実験Ⅰ (C)	1前	2			1				1			
	工学基礎実験Ⅱ (C)	1後	2				1			1				
小計 (25科目)			—	30	24	0	6	1	2	1	0	兼 9		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	講義	有機化学Ⅰ	1前	2			1					兼1
		有機化学Ⅱ	1後		2		1					
		物理化学Ⅰ	1後	2			1					
		物理化学Ⅱ	2前		2			1				
		無機化学	2前	2					1			
		分析化学	2前		2		1					
		高分子化学	2前		2		1					
		化学工学	2前		2		1					
		触媒化学	2前		2			1				
		生物化学	2後		2		1					
		工業化学	2後		2			1				
		電気化学	2後		2		1					
		界面化学	3後		2		1					
		量子化学	3後		2		1					
		光化学	3後		2		1					
		放射線化学	3後		2							
		有機合成化学	3後		2				1			
		工業物理化学	3後		2		1					
		無機工業化学	3後		2				1			
		サステナブル応用化学	3後		2		1					
	サステナブル環境化学	3後		2		1						
	サステナブル材料化学	3後		2		1						
	サステナブルエネルギー化学	4前		2		1						
	サステナブル化学特別講義	4前		2		1						
	実験・実習	有機化学演習	1前	1					1			
		物理化学演習	1後	1					1			
		応用化学実験Ⅰ	2前	3			2					
		応用化学実験Ⅱ	2後	3			1		1			
		応用化学実験Ⅲ	3①・②	3			1		1			
	研究課題	創成課題	3後	2			6	1	2			
		卒業課題Ⅰ	4前	4			6	1	2			
		卒業課題Ⅱ	4後	4			6	1	2			
小計(32科目)		—	27	42	0	6	1	2	0	0	兼1	
合計(112科目)		—	66	138	0	6	1	2	1	0	兼58 57	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
36科目	76科目	0科目	112科目	科目	科目	科目	科目	
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	【区分：共用】 ①蒲田キャンパス 日本工学院専門学校との 共用： 収容定員5,230人 基準面積 なし 共用の合計 20,657.52㎡のうち、 借用面積31.29㎡ 借用期間 平成21年4月1日 ～51年3月31日 ②八王子キャンパス 日本工学院八王子専門 学校との共用： 収容定員5,440人 基準面積 なし 【区分：共用する他の 学校等の専用】 ①日本工学院専門学校 ②日本工学院八王子専門 学校		
	校 舎 敷 地	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 365,600.03㎡ ① 20,657.52㎡ ② 344,942.51㎡	計 6,292.01㎡ ① 6,292.01㎡ ② 0㎡	計 371,892.04㎡ ① 26,949.53㎡ ② 344,942.51㎡			
	運 動 場 用 地	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 36,158.00㎡ ① 0㎡ ② 36,158.00㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 36,158.00㎡ ① 0㎡ ② 36,158.00㎡			
	小 計	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 401,758.03㎡ ① 20,657.52㎡ ② 381,100.51㎡	計 6,292.01㎡ ① 6,292.01㎡ ② 0.00㎡	計 408,050.04㎡ ① 26,949.53㎡ ② 381,100.51㎡			
	そ の 他	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡			
	合 計	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 401,758.03㎡ ① 20,657.52㎡ ② 381,100.51㎡	計 6,292.01㎡ ① 6,292.01㎡ ② 0㎡	計 408,050.04㎡ ① 26,949.53㎡ ② 381,100.51㎡			
(2) 校 舎	専 用	計 140,622.010㎡ ① 30,747.660㎡ ② 109,874.350㎡	計 40,970.610㎡ ① 9,279.950㎡ ② 31,690.660㎡	計 96,909.260㎡ ① 47,916.320㎡ ② 48,992.940㎡	計 278,501.880㎡ ① 87,943.930㎡ ② 190,557.950㎡	【区分：専用】 ①蒲田キャンパス ②八王子キャンパス 【区分：共用】 ①日本工学院専門学校 との共用： 収容定員5,230人 基準面積14,730㎡ 借用面積31.29㎡ 借用期間 平成21年4月1日 ～51年3月31日 ②日本工学院八王子専門 学校との共用： 収容定員5,440人 基準面積16,820㎡ 【区分：共用する他の 学校等の専用】 ①日本工学院専門学校 ②日本工学院八王子専門 学校		
		〔計 140,622.010㎡ ① 30,747.660㎡ ② 109,874.350㎡〕	〔計 40,970.610㎡ ① 9,279.950㎡ ② 31,690.660㎡〕	〔計96,909.260㎡ ①47,916.320㎡ ②48,992.940㎡〕	〔計 278,501.880㎡ ① 87,943.930㎡ ② 190,557.950㎡〕			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	58室	4室	196室	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	工学部 応用化学科			9 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共有分 ・八王子図書館 図書 133,501冊 学術雑誌 191種 電子ジャーナル 56種 データベース 8種 視聴覚資料4,409点 ・蒲田図書館 図書 22,628冊 学術雑誌 171種 電子ジャーナル 27種 データベース 4種 視聴覚資料 754点
	工学部 機械工学科	2,180 [380] (1,514 [341])	6 [0] (13 [5])	0 [0] (4 [4])	85 (17)	1,166 (495)	4 (4)	
	工学部 電気電子工学科	1,600 [300] (809 [265])	8 [0] (16 [3])	2 [0] (10 [2])	85 (20)	1,109 (430)	3 (3)	
	工学部 応用化学科	2,180 [380] (1,189 [184])	7 [2] (12 [2])	2 [2] (3 [2])	85 (10)	2,261 (740)	2 (2)	
	計	5,960 [1,060] (3,512 [790])	21 [2] (41 [10])	4 [2] (17 [8])	225 (47)	4,536 (1,665)	9 (9)	

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数				
	2,967㎡		658席		175,000冊				
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	10,645㎡		テニスコート(5面)		50m公認プール				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書館購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む
		教員1人当り研究費等	600千円	600千円	図書購入費	15,000千円	7,000千円	7,000千円	
	共同研究費等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	537,500千円	542,000千円	—千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,346千円	1,376千円	1,412千円	1,448千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			検定料収入、手数料収入、資産運用収入、事業収入等を持って支弁する。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東京工科大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
ハイク・情報メディア研究科 ハイク専攻 博士後期課程	3	2	—	6	博士（ハイク） 又は博士（工学）	1.16	平成17年度	東京都八王子市 片倉町1404番地1号	
コンピュータ専攻 博士後期課程	3	2	—	6	博士（コンピュータ）又は 博士（工学）	1.00	平成17年度	同上	
メディア専攻 博士後期課程	3	2	—	6	博士（メディア） 又は博士（工学）	1.00	平成17年度	同上	
ハイク専攻 修士課程	2	40	—	80	修士（ハイク） 又は修士（工学）	1.08	平成17年度	同上	
コンピュータ専攻 修士課程	2	40	—	80	修士（コンピュータ）又は 修士（工学）	1.02	平成17年度	同上	
メディア専攻 修士課程	2	40	—	80	修士（メディア） 又は修士（工学）	0.48	平成17年度	同上	
アントレプレ専攻 修士課程	2	20	—	40	修士（アントレプレ）	0.52	平成17年度	同上	
大学の名称	東京工科大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
応用生物学部 応用生物学科	4	240	2年次 15人 3年次 9人	1,023	学士 （ハイク）	1.14	平成15年度	東京都八王子市 片倉町1404番地1号	平成20年4月入学者から、バイオニクス学部バイオニクス学科の名称変を、応用生物学部応用生物学科に変更した。
コンピュータ学部 コンピュータ学科	4	300	2年次 18人 3年次 12人	1,278	学士 （コンピュータ）	1.18	平成15年度	同上	
メディア学部 メディア学科	4	300	2年次 17人 3年次 12人	1,275	学士 （メディア学）	1.20	平成11年度	同上	

大学の名称	東京工科大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定員	収 容 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
工学部								東京都八王子市 片倉町1404 番地1号	
機械工学科	4	100	2年次 5人	415	学士 (工学)	1.21	平成27 年度		
電気電子工学科	4	100	2年次 5人	415	学士 (工学)	1.42	平成27 年度		
応用化学科	4	80	2年次 3人	329	学士 (工学)	1.12	平成27 年度		
医療保健学部								東京都大田 区西蒲田5- 23-22	
看護学科	4	120		480	学士 (看護学)	1.04	平成22 年度		
臨床工学科	4	80		320	学士 (臨床工学)	1.07	平成22 年度		
理学療法学科	4	80		320	学士 (理学療法)	1.07	平成22 年度		
作業療法学科	4	40		160	学士 (作業療法)	1.07	平成22 年度		
臨床検査学科	4	80		320	学士 (臨床検査)	1.01	平成26 年度		
デザイン学部	4	200		800	学士 (デザイン)	1.06	平成22 年度	同上	
デザイン学科									

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めません。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 応用化学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専(学科長)	教授	ヤマシタ タカシ 山下 俊	平成27年4月	化学基礎* 高分子化学 サステイナブル材料化学 光化学 化学基礎演習 応用化学実験Ⅰ コーオプ演習Ⅰ フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒業課題Ⅰ 卒業課題Ⅱ						
専	教授	カハシ マサオ 高橋 昌男	平成27年4月	化学基礎* 物理化学Ⅰ サステイナブル応用化学 工業物理化学 化学基礎演習 応用化学実験Ⅰ コーオプ演習Ⅰ コーオプ実習B フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒業課題Ⅰ 卒業課題Ⅱ						
専	教授	カキリ ヨシマサ 片桐 利真	平成27年4月	線形代数(C) 安全工学 有機化学Ⅰ 量子化学 応用化学実験Ⅱ コーオプ演習Ⅰ コーオプ実習C フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒業課題Ⅰ 卒業課題Ⅱ						
専	教授	エガシラ ヤスユキ 江頭 靖幸	平成27年4月	化学工学 サステイナブル環境化学 サステイナブル工学基礎 サステイナブル工学実習 サステイナブル工学プロジェクト演習 コーオプ演習Ⅰ インターンシップⅠ インターンシップⅡ フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒業課題Ⅰ 卒業課題Ⅱ						
専	教授	ニシオ カズユキ 西尾 和之	平成27年4月	分析化学 電気化学 界面化学 サステイナブル化学特別講義 サステイナブルエネルギー化学 応用化学実験Ⅲ コーオプ演習Ⅰ フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒業課題Ⅰ 卒業課題Ⅱ						
専	教授	スマカ ジュン 須磨岡 淳	平成27年4月	サステイナブル化学概論 有機化学Ⅱ 生物化学 コーオプ実習A 工学基礎実験Ⅰ(C) コーオプ演習Ⅰ フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒業課題Ⅰ 卒業課題Ⅱ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	ハラ ケンジ 原 賢二	平成27年4月	化学基礎* 物理化学Ⅱ 触媒化学 工業化学 化学基礎演習 工学基礎実験Ⅱ(C) コーオプ演習Ⅰ フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒業課題Ⅰ 卒業課題Ⅱ						
専	講師	モリモト タツキ 森本 樹	平成27年4月	微分積分 無機化学 無機工業化学 地域連携課題* 物理化学演習 応用化学実験Ⅲ コーオプ演習Ⅰ フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒業課題Ⅰ 卒業課題Ⅱ						
専	講師	ウエノ サトシ 上野 聡	平成27年4月	情報リテラシー 有機合成化学 情報リテラシー演習 有機化学演習 応用化学実験Ⅱ コーオプ演習Ⅰ フレッシュヤーズゼミ 創成課題 卒業課題Ⅰ 卒業課題Ⅱ						
専	助教	マツヤマ ナオト 松山 直人	平成27年4月	プログラミング 工学基礎実験Ⅰ(C) 工学基礎実験Ⅱ(C)						
兼任	教授	シバイ ナリ 芝池 成人	平成28年4月	サステイナブル工学基礎 サステイナブル工学実習 サステイナブル工学プロ ジェクト演習						
兼任	教授	フルイ ミツアキ 古井 光明	平成28年4月	確率と統計 信頼性工学						
兼任	教授	ツルオカ マコト 鶴岡 誠	平成27年4月	物理の世界*						
兼任	教授	ササオカ ケンジロウ 笹岡 賢二郎	平成28年4月	コーオプ演習Ⅱ コーオプ演習Ⅲ コーオプ実習A コーオプ実習B コーオプ実習C 地域連携課題*						
兼任	教授	外ウ マサヒロ 工藤 昌宏	平成27年9月	経済学 総合社会Ⅱ コーオプ企業論						
兼任	教授	カミバヤシ リユキ 上林 憲行	平成28年4月	サービスラーニング実習Ⅰ サービスラーニング実習Ⅱ						
兼任	教授	サカイ ユウコ 酒井 優子	平成27年4月	言語学 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ						
兼任	教授	オク マサヒロ 奥 正廣	平成27年4月	心理学 総合社会Ⅰ						
兼任	教授	ステイブン ウイドウズ ステイブン ウイドウズ	平成28年9月	海外語学研修	兼任	教授	カツラ スミ 勝浦 寿美	平成27年9月	海外語学研修	担当者を変更し1年次後期に開講(27)
兼任	教授	イハハ タケシ 稲葉 竹俊	平成28年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	チン シュクハイ 陳 淑梅	平成28年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ				平成27年9月	海外研修	担当科目の追加に伴う就任年月の変更(27)
兼担	教授	ウエダ マミ 植田 麻美	平成27年4月	英語RWⅠ 英語RWⅡ 海外研修	兼担	准教授	クリストファー・ホールブロッケン クリストファー・ブロッケン	平成27年4月	英語RWⅠ 英語RWⅡ	平成27年3月 ●●●●が退職のため担当者を変更(27)
					兼担	教授	チン シュクハイ 陳 淑梅	平成27年9月	海外研修	
兼担	教授	サクマ ユウジ 佐久間 裕司	平成27年4月	心と健康 スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ 集中実技Ⅰ サービスマーケティング実習Ⅰ サービスマーケティング実習Ⅱ						
兼担	教授	トヨタ ヒロコ 豊田 ひろ子	平成28年4月	ビジネス英語Ⅲ						
兼担	教授	アリシア ロス キャンベル A.ロス キャンベル	平成28年9月	英語インテンシブⅢ 英語インテンシブⅣ ビジネス英語Ⅱ						
兼担	教授	ウラセ タロウ 浦瀬 太郎	平成28年9月	地球環境論						
兼担	教授	ヨシムラ テツゾウ 吉村 徹三	平成27年4月	物理の世界*						
兼担	准教授	イダ アキ 飯田 朱美	平成28年4月	英語インテンシブⅠ 英語インテンシブⅡ 工学英語A						
兼担	准教授	オチアイ コウタロウ 落合 浩太郎	平成27年4月	政治学						
兼担	准教授	クリストファー・ホールブロッケン クリストファー・ブロッケン	平成27年4月	英語SLⅠ 英語SLⅡ ビジネス英語Ⅰ 工学英語B	兼担	教授	ヨシダ トシミ 吉田 俊実	平成27年4月	英語SLⅠ 英語SLⅡ	担当者の変更(27)
									英語RWⅠ 英語RWⅡ	
兼担	准教授	イシヅカ ミカ 石塚 美佳	平成29年4月	英語インテンシブⅢ 英語インテンシブⅣ						
兼担	准教授	ススキ マキエ 鈴木 万希枝	平成28年4月	コミュニケーション論						
兼担	准教授	ヤマモト ススム 山元 進	平成27年4月	数学概論	兼担	准教授	カメイ サトシ 亀井 聡	平成27年4月	数学概論	担当者の変更(27)
兼担	准教授	オオヤマ マサヒコ 大山 昌彦	平成28年4月	現代社会論						
兼担	准教授	イクノ ソウイチロウ 生野 壮一郎	平成27年4月	数学概論						
兼担	准教授	カメイ サトシ 亀井 聡	平成27年4月	数学基礎	兼担	教授	ミヤムラ イサオ 宮村 勲	平成27年4月	数学基礎	担当者の変更(27)
兼担	准教授	ムラカミ ヤスシロウ 村上 康二郎	平成27年4月	法学						
兼担	准教授	トミサワ シンヤ 富沢 信也	平成27年9月	サイエンスの世界						
兼担	講師	カンバ ミサト 加柴 美里	平成27年9月	生物の世界						
兼担	講師	ナカムラ ヒデアキ 中村 秀明	平成27年4月	生物の世界 自然とエネルギー						
兼担	准教授	アキモト タクオ 秋元 卓央	平成27年4月	物理の世界*						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	カノウ イツヤ 加用 一者	平成27年4月	サイエンスの世界						
兼任	講師	アンベ ヒサカ 安部 久貴	平成27年4月	栄養と健康 スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツ実技Ⅲ スポーツ実技Ⅳ 集中実技Ⅱ	兼任	講師	アサイ タイ 浅井 泰詞	平成27年4月	栄養と健康	平成26年9月 ●●●●が退職のため担 当者を変更 「スポーツ実技Ⅲ」「スポーツ 実技Ⅳ」「集中実技Ⅱ」につ いては他に担当者が複数いるため 支障はない。(27)
					兼任	講師	イノエ ヨシタ 井上 洋佑	平成27年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ	
							後任未定		スポーツ実技Ⅲ スポーツ実技Ⅳ 集中実技Ⅱ	
兼任	講師	ヨシムラ アキヨシ 吉村 彰芳	平成28年4月	確率と統計						
兼任	講師	クロダ ミチコ 黒田 道子	平成27年4月	物理の世界*						
兼任	講師	ウメダ カスネ 梅田 一穂	平成27年9月	芸術論						
兼任	講師	ムルター ニエル ムルター ニエル	平成27年4月	英語RWⅠ 英語RWⅡ 英語インテンシブⅢ 英語インテンシブⅣ	兼任	講師	キャロラム タカハシ キャロラム タカハシ	平成27年4月	英語RWⅠ 英語RWⅡ	担当者の変更(27)
								平成29年4月	英語インテンシブⅢ 英語インテンシブⅣ	担当科目の変更に伴う就任年月の 変更(27)
兼任	講師	フィールセント テリー フィールセント テリー	平成27年4月	英語SLⅠ 英語SLⅡ	兼任	講師	ラベネカ ジョシュア ラベネカ ジョシュア	平成27年4月	英語SLⅠ 英語SLⅡ	担当者の変更(27)
兼任	講師	ナカガワ アキヒロ 中川 明博	平成28年4月	哲学						
兼任	講師	マエカワ ヤスナリ 前川 康成	平成29年9月	放射線化学						
兼任	講師	オーエン ジョン オーエン ジョン	平成28年4月	英語インテンシブⅠ 英語インテンシブⅡ						
兼任	講師	ニシマキ ジョウジ 西巻 丈児	平成28年4月	倫理学						
兼任	講師	アッシュウィン キャンベル アッシュウィン キャンベル	平成27年4月	英語SLⅠ 英語SLⅡ	兼任	講師	コトウ アキコ 近藤 章子	平成27年4月	英語SLⅠ 英語SLⅡ	担当者の変更(27)
兼任	講師	イワナガ ユウジ 岩永 勇二	平成29年9月	知的財産権						
兼任	講師	イワタ シンイチ 岩田 真一	平成28年4月	スポーツ実技Ⅲ スポーツ実技Ⅳ						
兼任	講師	ナカヤマ トモカズ 中山 誠一	平成28年4月	工学英語A 工学英語B						
兼任	講師	ミナミ ヒロキ 南 英樹	平成27年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ	兼任	講師	ヒロセ ケンイチ 廣瀬 健一	平成27年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ	担当者の変更(27)
兼任	講師	ハヤシハラ アキヒロ 林原 玲洋	平成27年4月	社会学						
兼任	講師	ハンブリ マーク ハンブリ マーク	平成27年4月	英語RWⅠ 英語RWⅡ	兼任	講師	キハラ ミドリ 木原 翠	平成27年4月	英語RWⅠ 英語RWⅡ	担当者の変更(27)
兼任	講師	マルヤマ タカオ 丸山 空大	平成28年4月	宗教学						
兼任	講師	レイン ホール レイン ホール	平成28年4月	英語インテンシブⅠ 英語インテンシブⅡ 英語インテンシブⅢ 英語インテンシブⅣ						
兼任	講師	アサイ タイ 浅井 泰詞	平成28年4月	スポーツ実技Ⅲ スポーツ実技Ⅳ				平成27年4月	栄養と健康	担当科目の追加に伴う就任年月の 変更(27)
兼任	講師	カナザシ ミチ 金指 みの利	平成28年4月	スポーツ実技Ⅲ スポーツ実技Ⅳ						
兼任	講師	ヤハタ ミツヤ 八幡 光哉	平成28年4月	スポーツ実技Ⅲ スポーツ実技Ⅳ						
兼任	講師	ヤマキシ ミチオ 山岸 道央	平成27年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ	兼任	講師	カンダ シンペイ 神田 俊平	平成27年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ	担当者の変更(27)
兼任	講師	ナイノウ ヒカリ 内藤 景	平成27年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ	兼任	講師	イマムラ ナオミ 今村 直美	平成27年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ	担当者の変更(27)
兼任	講師	ヒラノ トモヤ 平野 智也	平成27年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
6	1	2	1	10	6	1	2	1	10	65	0	—	—
(6)	(1)	(2)	(1)	(10)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「—」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由 「該当なし」

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (年 月)	「該当なし」			
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等 「該当なし」

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

東京工科大学企画推進会議（以下「企画推進会議」）を設置し、教員の資質維持・向上を含め全学的な諸改革の推進について検討を行っている。

また、学長諮問委員会として次の委員会を設置し、全学的なFD活動に取り組んでいる。

- ・ FD委員会
- ・ 教育力強化委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 企画推進会議は、原則として月1回開催し、学長、研究科長、各学部長、学環長、研究所長、学長補佐、教務部長、学生部長、就職部長、事務局長、学長室長で構成している。
- ・ 平成26年度は、8月を除き全11回開催し、平成27年度も4月に第1回を開催している。
- ・ FD委員会は、別に実施している全学教職員会におけるテーマ設定を目的として平成26年度に2回開催した。
- ・ 教育力強化委員会は、全専任教員に対して実施している教員相互の授業点検における結果の検証、点検項目の改善等を目的として平成26年度は3回開催した。
- ・ 企画推進会議は、前期・後期で開催日を決めて開催していること、FD委員会、教育力強化委員会は構成員の予定を調整し開催していることから、ほぼ全員が出席している。

c 委員会の審議事項等

- ・ 企画推進会議では、学部独自のFD活動やFD委員会で設定した全学教職員会のテーマについて報告・意見交換を行うとともに、FD活動に限らず学部の取り組みなどについて報告・審議する。
- ・ FD委員会では、本学の課題や取り組むべき事項を抽出するとともに、全学教職員会のテーマについて審議する。
- ・ 教育力強化委員会では、教員相互の授業点検に関し、点検結果の検証や評価の低い教員への再点検の要否、点検項目の見直し等について審議する。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 教員相互の授業点検（教育力強化委員会）
- ・ 全学教職員会（FD委員会）
- ・ 新任教員研修会
- ・ アゴラ
- ・ 授業評価アンケート

b 実施方法

- ・ 教員相互の授業点検

専任教員の授業を、当該学部長・学環長、当該学部・学環教務委員長等数名の教員で授業評価表をもとに客観的な評価をし、その結果をもとに評価を受けた教員と評価をした教員が面談を実施している。平成27年度からは実験系の科目でも、この授業点検を実施すべく教育力強化委員会で検討している。

・全学教職員会

八王子・蒲田の両キャンパスで原則として月1回全教職員を構成員とする全学教職員会を開催し、当該年度の学長方針等をはじめ、全教職員が本学のおかれている状況と問題意識の共有を図り、教職協働で教育の向上や学生支援に役立てている。

・新任教員研修会

新任教員を対象に、学長からは本学の理念と目標、教育研究に関することについて訓話があり、その後、事務局からは本学の行動規範、就業規則等諸規程及び各部署の役割について説明している。

・アゴラ

学部・学環ごとに当該組織の教育・研究に関する討論の場として、アゴラを原則として月1回開催している。このアゴラには、事務局は参加せず完全に教員のみによる活発な討論の場としている。

・授業評価アンケート

開講している全授業科目について学生による授業評価アンケートを実施している。八王子キャンパスでは、平成26年度までは本学で開発した教育支援システムを活用して実施していたが、平成27年度からは全授業においてe-ラーニングプラットフォームであるMoodleを活用して実施する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・教員相互の授業点検

平成26年度は大学全体で82名の専任教員の授業点検を実施した。平成27年度からは工学部各学科の授業点検も実施する予定である。

・全学教職員会

平成26年度は八王子キャンパスで下記のテーマにより全10回開催し、平均出席率は約80%である。

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 第1回：平成26～29年度の大学運営方針 | 第6回：オープンエデュケーションの現状と展望 |
| 第2回：学部・研究科の基本方針 | 第7回：アクティブラーニングを利用した学長賞の取組み |
| 第3回：世界のFDの課題－欧米と日本－ | 第8回：創価大学におけるピアサポートの取組みと事例 |
| 第4回：大学新ITの教育利用 | 第9回：卒業研究への取組み方について |
| 第5回：国際教養スタンダードに向けて | 第10回：学生のメンタルヘルスケアについて |

・新任教員研修会

八王子キャンパスでは、平成26年、平成27年ともに4月1日・2日の両日で新任教員研修会を開催し、新任教員全員が出席した。4月1日は、学長から理念・目標をはじめ、本学の学生と教育の特徴などの訓話の後、事務局から就業上の説明、ハラスメントの現状などについて説明を行った。4月2日は、八王子キャンパスにおけるIT環境やITを活用した教育支援について、メディアセンター長から説明を行った。

・アゴラ

本学では、各学部・学環で原則月1回アゴラを開催している。このアゴラの開催については、大学評議会、教授会と同様に本学における重要な会議のひとつとしていることから、前期・後期であらかじめ開催日程を定めていることから、ほぼ全教員が出席している。工学部においては、開設前々年度の3月28日に就任予定教員による第1回のアゴラを開催した。開設前年度の平成26年度には、全12回のアゴラを開催し、工学部各学科の教育研究にかかわる討論を実施した。平成27年からは他の学部同様に、開催スケジュールに基づき4月に第1回を開催している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員相互の授業点検は、平成26年度までに教員一人あたり2回の点検を受けている。その結果をみるとほぼ全ての教員が授業の内容・方法に改善がみられており、授業改善の取組みとしては、大きい成果をあげている。この教育力強化委員会による授業点検は、自己点検・評価の一環として実施しており、引き続きPDCAサイクルによる授業改善に取り組むこととしている。また、他の教員の授業をみることは、自己の授業改善にも役立つことから、新任教員については、着任1年以内に3回以上、その他の教員は当該年度中に1回以上の授業参観を義務づけ、教員の教育力向上に資することとした。

③ 授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

既設学部については、毎年度前期は6月下旬～7月中旬（授業回：11回～13回）、後期は11月下旬～12月中旬（授業回：10回～12回）に実施している。工学部においても、既設学部同様に実施する予定である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は、当該教員と当該教員が属する学部長・学環長にフィードバックしている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

工学部においては、開設年度であるため設置の趣旨・目的に関する具体的な自己点検・評価には及んでいないが、サステイナブル工学を教育・研究する工学部は、特徴のひとつとしてコーオプ教育を導入するが、その準備段階として、平成27年度よりコーオプセンターを発足し、平成28年度からの実践に向け設置計画を履行している。

また、工学部は既設学部からの定員振り替えにより設置していることもあり、学年進行に合わせて、既設学部施設の一部を工学部の施設に再整備することになる。既設学部と工学部の教育に支障がないように整備計画を実施する。

今後は、自己点検・評価委員会を中心として、設置の趣旨・目的の達成状況をはじめ、教育・設備等の自己点検・評価を行う予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成27年3月 公表済
- ただし、工学部を含めた自己点検・評価書については、平成29年9月公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、大学HPで公表等

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成26年度に評価機関（（公財）日本高等教育評価機構）で評価を受けた。
- ・平成33年度までに評価機関（未定）で第3回目の評価を受ける。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成27年 9月 30日)